京城日報

事務定價　壹箇月七十五錢▲前金[illegible]
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五十錢▲[illegible]
發行兼編輯人　奧田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　[illegible]

時間表 [illegible]

四月八日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇日本要求當然 人種差別不公平 英紙我提議に賛成

【倫敦電報】人種平等問題に就きオッタワ(加奈陀)スチーブンス紙は四月一日の紙上にて濠洲首相ヒュース氏の說を把握なりと斷じ同時に日本の要求を當然なりとし又モントリオルガセット紙は開戰以來の日本の功績を賞讃し日本人が皮膚の色に依り劣等の地位に置かれて如何に之れを感ずるや講和會議は一時的平和を締結し戰爭再開の種を胎す無からんを希望す更にボストインデリデンス紙は日本の提議に賛成說を掲げウイルソン氏が四海同胞主義の絶叫を空論に終らしめざらんとせば日本の提議を無視するを得ずと論ぜり(東京特電)

◇獨不調印と攻勢

獨逸にして講和條約に調印せざればフォッシュ元帥はライン河の線より一齊に攻勢を執る可しと(倫敦電報)

◇國際勞働審議了

國際勞働會議委員は三十五回會合し漸く審議を終りたるも其報告は充分に滿足を與ふるに至らず右は全文九箇條より成り本國議會が之を可決せざる場合は斯かる國家は會議に對し責任を負はざる規定の方針なり(巴里特電)

◇伊首相出席拒絶 講和會議依然混沌

講和會議は依然混沌たる狀態を持續しつゝあり伊國首相オルランド氏はユーゴースラヴ國が飽く迄フューメ獲得を主張するを以て伊太利は敵と斷言する能はずとて會議に列席することを拒絶したりとの報あり(巴里電報)

◇會場と兇徒警戒

四大國會議は毎日異なりたる場所にて開會せられつゝあり即ち今日はクレマンソー氏の部室に明日はウイルソン氏の部室と云ふが如し右は兇徒に對する警戒の爲めにして殊にウイルソン氏に對しては警戒嚴重を極め居れり(巴里電報)

◇講和使身邊注意

(巴里特約員發電)聯合國講和委員の身邊の萬一の危險を慮かり嚴重に警戒されつゝあり

◇露國の現狀を悲む

倫敦大學教授パースン氏は三日哈爾賓東清鐵道俱樂部にて英露語の爲め講演を爲したるが要領は露國が開戰後多大の犧牲を拂ひて聯合國の爲めに盡せる事を賞讃し更に今日の革命を致したるを悲しみ聽衆に多大の感動を與へたり(哈爾賓電報)

◇對露方針動搖 今後協調を保ち得るや否や

米國の提唱に係るプリンセス島會議は總合失敗に歸したりとするも聯合國の對露方針は今や動搖せんとしつゝあるものゝ如く現に佛國陸相は自ら議會に於て今後露國へは一兵をも送らずと言明し又米國は過激派を討伐せんとするが如き考へは寸毫も無きのみならず既に露國進徘米軍を引揚しめんとしつゝあり次に英國は今尚當初の如く日本と協調を保ちつゝあるが如くなるも佛米の態度は前述の如く今日の形勢にては果して何時迄協調を保ち得るや疑問なり而して聯合國の對露方針變更と共に最も注目すべきは我對露方針と西伯利鐵道管理問題となり假りに米佛伊三國悉く撤兵の曉に於て我帝國獨力を以て守備に任ずべきや又三國出兵打切の後西伯利鐵道管理が過日の協定通り行はるべきや否や頗る興味ある問題といはざるべからず(東京特電)

◇英地方軍隊編成

二日英國陸相は議會に於て地方官憲の再建設を急務とし師團十四騎兵旅團十四軍直屬部隊、要塞、兵站部隊若干を編成する旨言明し其他建設要領を發表せり(倫敦電報)

◇我移民增加否認 比律賓群島上院議員の陳述

比律賓群島への日本移民は近年益增加しつゝありとの說ありしも此報道は比律賓上院議員マニエルクエーソン氏に依りて否認せられたり氏は曰く日本人は常に比律賓に出入し異動絶ざるも近年特に著しく增加を示したること無しと尚ほ氏は確言して曰く余は日本政治家は比律賓に對し日本の商業的發展を求むる以外何等の意圖なきものと信ず(華盛頓電報)

◇過激派逐放命令

北露方面に在る聯合國司令官は露軍司令官の名を以て左の命令を公布したり

過激主義を抱持し其宣傳に努めつゝある者は此の際三日分の食糧を携帶し軍の戰線を通過して根據地に歸還することを許すべし若し尚ほ止りて依然過激的行動に出づる者は嚴に之れを處分すべし(東京特電)

◇和議繼續通電

五日南方代表者は江三督軍及び吳佩孚氏に對し左の旨通電せり(上海電報)

陝西問題の爲め和議停頓の止むを得ざるに至る余輩は衷心之れが責任を感じ居れり而して陝西の戰ひ未だ歇まざるも余は諸公の誠意を信じ七日會議を繼續する、決し北方代表も之れを承知せり和議の再び陝西問題の爲めに停頓せざる樣盡力を請ふ

◇陸和議再開主張

陸榮廷氏は唐紹儀氏に密電を送り和議再開を主張して曰く『余に對して邪心を存し種々の計を以て和局を紛糾せしめんとし且つ單獨和議の風說を流布せしものあるを遺憾とす余は和議の進行を促すものなり』(上海電報)

◇參戰借款內容發表

政府は七日午後四時朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏と支那公使章宗祥氏との間に昨年九月締結せる二千萬圓の參戰借款の內容を發表したり(東京特電)

◇七億留の借款 米國資本を西伯利に

西伯利都市及び各地方の自治體は現下の悲觀すべき財政狀態に鑑み最近第一回全西伯利都市地方自治の會議を開催し米國より援助を受くる件に關して議し右會議の代表者委員會は既に政府當局及び米國の商工業者等と交渉をなし工業的企業の資本金として合計四億留自治體の經費として一億八千萬留銀行建設費一億萬留の借款をなすべしとの說あり(浦鹽電報某所着)

◇事業公債 朝鮮臺灣樺太

金融市場緩慢を告げ公債發行の好機なるより政府は本年度發行豫定の電話、鐵道、朝鮮、臺灣、樺太の各事業公債八千二百萬圓五分利附二號國庫債券を發行するに決せり(東京特電)

▲省令公布日四月八日▲發行額八千二百萬圓▲發行價格九十九圓二十五錢▲利率年五分▲償還期限大正十一年九月一日▲申込期日自四月十七日至十九日▲拂込決定四月廿五日▲利廻步合六分四厘

◇貿易進展策 商工懇話會活動

東京實業組合商工懇話會は近く調査委員會を開催の上西藏濠洲南亞南米地方に銀行の支店を置き銀行の信用調査機關を完全にし且輸出業者をして不安なくO.A式爲替を利用せしめ品質の增進を計ると共にO.A式の割引に應じ得る樣其方法調査に着手すべし右成果を得次第同會は直ちに農商務省當局に建議の上輸出貿易資金の融通吾が商圈の海外發展に努力する由(東京特電)

◎鷲口瘡府令改正

四月九日府令を以て鷲口瘡豫防に關する府令中改正の件發布さるべきが右は釜山丸一洞及び江原道鐵原郡に於ける鷲口瘡既に終熄したるを以て同地に於ける畜牛其の他の出入及び牛市場開設の停止を解除されたるものなり

◎小包引上事情

朝鮮內小包郵便料金の引上げは朝鮮所報の如く來る四月十五日より實行せらるゝ事となりしが右に付遞信當局は曰く從來小包郵便の遞送は料金低廉のため少からざる損失を受けゐたる爲約五割を引上げたりとて恐らく收支相償ふの程度に達せざるべく損失を幾干か輕減せりと云ふ位ならん乃ち小包遞送の最も利益ある鐵道沿線は殆んど小包郵便によらず鐵道小荷物に託送するを以て結局小包郵便となる者は交通不便地の奧地等に限られ居る觀あり現に小包の最も多きは咸南道に平安南北道の奧地にて之等は人夫牛車馬賃の騰貴に伴ひ遞信當局の受け居れる苦痛は甚大なり唯同樣の方面に居住せる人士に對し確實に敏速に低廉に物品の遞送を司るは遞信事業の職責に付忍び得らるゝだけは忍びたるも遂に及ばず今回內地の引上げを見たる如く朝鮮にも引上實行決定せし次第なり旁々一般に對して大なる苦痛を與ふる如き事はなからん

◎定例長官會議

八日午前十時より總督府第一會議室にて定例長官會議を開き長谷川總督を始め各部局長官並に所屬官署長參集し一般事務に就き協議したり

◎撫順炭需給豫定 滿鐵側讓步の餘地なしと稱す

撫順炭の値上及び割當に關する滿鐵減任に就ては一般の非難昂まりつゝあるが滿鐵側に於ては讓步の餘地なしと稱し朝鮮側の要求に就ては耳を藉さず之が交渉の爲め來城せる城崎滿鐵營業部販賣課長は結局强硬の態度を持し

◇交渉未了の儘 八日朝出發歸連せるが滿洲に於ける石炭の本年度に於ける需給關係豫定なるものは左の如く一目甚だしく朝鮮を輕視せり

▲產出量　約三百萬噸(內撫順炭二百七十萬噸)其他滿洲炭三十萬噸)
▲消費量　約三百五十萬噸(內滿洲地方消費百萬噸、滿鐵社用炭二百萬噸、朝鮮地方賣炭十五萬噸、輸出四十萬噸)
▲差引不足　五十萬噸

而して右の不足額は開平炭及び內地炭を以て補塡すべきが事實に於ては上の結果消費減少の見込なれば約三十萬噸を補塡するを以て足れりと見込み居れり尚其の上朝鮮として

◇不利益なる點は昨年社用炭を合せ三十五萬噸の鐵道輸送を爲せるに拘らず本年は二十萬噸の鐵道輸送を爲すのみにて他は海運に依る事となれるが朝鮮に於ける滿鐵社用炭三十萬噸の中十萬噸は內地炭なるを以て二十萬噸は滿鐵社用炭にて內鮮輸送と云ふは全部社用炭にて鐵道輸送は船積みに依らざる可からず且つ炭は船賃は一噸四圓五十錢にて運賃に比し不利益なる事は云ふ迄もなし左に於ては五圓以上の値上となる譯なり其理由とする所は滿洲の大豆の滯貨夥しく之が一掃を圖る上に於ては到底二十萬噸以上の石炭輸送を爲す能はずと云ふにあるも朝鮮線は昨年に比し

▲輸送力に於て 三割の增加を示し昨年三十五萬噸を輸送し本年十五萬噸を減ずるは全く理由なき事なりと某消息通は語り居れり

◎現株市場問題

資本金百萬圓・在鮮諸會社株式を取引す

京城現株取引所設立計畫に就て其經過を聞く處に依れば資本金百萬圓と爲し本店を京城に置き全鮮各商業會議所の議員等が其發起人となる豫定なるが額面五十圓株二萬株の內三分の二以上は京城に於ける發起人側の持株とし之の希望者に出で居るを以て各地方割當額約七千株は地方に於て一般公募となすに過ぎざるに付今日此の公募にも金額二百萬圓として一般の希望に副はんかとの內議もあり未だ發起人の一人たる釘本氏歸城の上ならでは確定せざるもの、如し倘此目的とする所は目下朝鮮に於ける銀行諸會社の拂込株金額は約一億二千萬圓餘に上り居るも公定相場を附して賣買金融せられ居るは僅かに一少部分に過ぎざる有樣にて斯くては諸會社の信用上又株式の金融上にも不便勘からざれば之が資金の澁滯を償ふに在るが如くして大なる受渡期間としては一週間を限度として確實に取引する意響なりと

◎酒類見込石數

大正七年酒造年度に於ける朝鮮酒以外の酒類見込造石數は總計五萬四千八百六十九石にして其の中主なる酒類の造石數を掲ぐれば清酒四萬六千七百五十二石燒酎千百卅三石燒酎二千百九十九石を增加し麥酒十七石を減少せり右の內清酒及燒酎の增加したるは一般經濟界の好況なると一方酒質の改善に連れ需要益旺盛となりしに基因し又濁酒の減少したるは一般經濟の發展に伴ひ需要者に於て漸次嗜好を清酒に轉換したるに起因すと

◎朝鮮線收入 三月

三月中に於ける滿鐵朝鮮線の運輸總收入は百七十七萬二千六百二十三圓にして前年同期に比し五十九萬六千八百七十二圓を增加せり今其內譯を記せば營業哩一千百二哩一鎖乘車人員百六萬四千七十三人小手荷物斤數二百八十四萬四千六百九十四斤貨物噸數二十二萬二千九百八噸客車收入百九萬三千六百廿四圓にして前年同期より四十八萬七百八十一圓を增加し貨車收入は六十七萬八千九百九十九圓を增加し總收入を一日一哩平均の收入に見るときは五十一圓八十八錢にして同じく前年同期より十七圓十五錢を增加せり

◎殖銀業績躍進

朝鮮殖產銀行の近來に於ける活動は銀行界の一異彩となり一部に於ては兎角の評を聞くに至り居れるが今本店に於ける月末三日現在の預金貸出しと昨年九月三十日現在の引繼當時並に七年末とを比較するに左の如き差額を示し居れり

七年九月末	預金	[illegible]
	貸出	[illegible]
七年十二月末	預金	[illegible]
	貸出	[illegible]
八年三月末	預金	[illegible]
	貸出	[illegible]

乃ち引繼當時に比し預金は五倍强の激增を示し貸出は四倍强の膨脹を示し貸出は京城九銀行の預金貸出額に於て鮮銀行第一銀行に亞ぎて三位を占め鮮銀行第一銀行の次位に進み一銀行支店より約四十萬圓の增加を來し居れるが其激增理由は(一)銀行の實質は銀行時代と一變せる事(二)地方に關係多き大商店に會社が殖銀と取引を開始し若くは程度を濃厚ならしめし事(三)行の熱心活動等に歸すべくその預金に於て一銀を拔くは或は近き將來に來るやも知れず尤も殖銀業績の膨脹は主として京城本店にて地方の增加は素より本店の增率より遙に劣れる模樣なり

◎鮮銀券發行高 三十日調

三月三十日より四月五日に至る一週間の鮮銀券總發行平均高は九千三百零二萬六千圓にして週末發行高は九千零九十七萬圓を示し發行高緊縮の狀態を示せり

◎[illegible]咸尋常小學校設置 慶尙北道[illegible]咸學校組合管理者よりの申請に係る[illegible]咸公立尋常小學校設置の件は四月七日認可の指令ありたり

◎會寧簡易農校廢止 咸鏡北道會寧に於る會寧公立簡易農業學校廢止の件は四月七日附認可されたり

◎李伯再警告 妄動に關し

伯爵李完用氏が去る二日時局に對し警告文を發して朝鮮人の輕擧妄動を誡むる所ありたるは既報の如くなるが同氏は八日更に左の警告文を發表せり

予が同胞に警告せる目的は單に予が人民の死傷を無からしめんとするに在り同胞諸君の答書を見るに或は時勢に適切なる言論なりと云ひ、或は其の是非を論せず只單に賣國賊の言に耳目を汚されたりと云ひ或は威脅の言語あり、其の中或は警告の文意に道理ありと認容せる人有りたり。惟ひ願ひらく、本人の誠心を以て警告せるを諸君に於て採納し生命の多數を救ふあらば予の目的は既に達せる也。故に再び茲に予の前說を復陳せんとす。予の警告に對し如何なる言論も、又其の非難と雖も、予に直接到するは心甚だ欣然たり。顧慮當初に於て當局は寬大なる手段を用ゐる方策なりき、又朝鮮人側に於ても人民に危險無く措處するの意を當局に陳情せる事あり、然れば月餘を經たる今日更に當局に對し容喙するの餘地なきなり近日各新聞紙上に於て諸君の已に知悉せるが如く各地の言論益々嚴重となれり、予も亦朝鮮人なり責任上よりするも又は人情上よりするも其危險目前に迫れるを知れる以上には一言なかるべからざるなり賣國賊の警告なりとて自身のみ危に關するを恐れざるは思はざるの甚だしきにあらずや、余の屡々たる所望は一般同胞の容れ認むる所となり安心鎭靜して死傷の禍を避けしむとする眞心に外ならざるなり。心至誠なれば天も亦感ずと云ふ余は諸君の感ずる迄、務迫を厭はず又此に警告す

大正八年四月八日　伯爵　李完用再告

◎小原長官通過

東上中なりし小原農商工部長官は八日朝釜山上陸午前十時發列車にて北行赴任せり(釜山特電)

◎頭本代議士着發

頭本代議士並に日本弘報局主幹頭本元貞氏は八日朝釜山上陸直に北行京城に向ひたるが氏は數日間滯城の上內地に引返し夫より浦鹽に向ふべしと(釜山特電)

◎滿鐵社友會進捗

京城滿鐵管理局が考案組織中なりし社友會は其管理局幹部の熱議に依り時々進捗の運びに至り之に關する細則等も既に決定、目下東上の久保局長歸任次第發表する筈なり社友會の特徴すべき點は購買所及び相談部の二にして、即ち購買所なるものは社員家庭に於ける日常必要品は總て社友會の資金を以て原產地に於て購入し而して之を同局の貨車便にて輸送し右購買所より、原價の儘給するものにて相談部は各所に散在せる同社宅に一箇所宛設置し、社員の救濟方法を講ずべしと、因に社友會は會員組織にて雇人、雇員を問はず何れも同局に勤務するものは全部會員たるを得べしと

人事消息

▲城崎彌藏氏(滿鐵營業部販賣課長)撫順炭値上に關し總督府と打合の爲め入城中のところ八日朝出發
▲岡田儀作氏(釜山商業會議所會頭)八日朝出城

八面鋒

◇朝鮮の騷擾が漸次に過激化しつゝあることは中央政府に於いても既に認むる所にして、時近軍部當局者の談に依れば『騷擾の劇變は在外鮮人就中露領在住の歸化鮮人間島在住鮮人及び上海に根據を有する鮮人等種々謀策援護を與ふるのみならず其一派の者を朝鮮內地に潜入せしめ彼等に過激思想を宣傳して愚民を煽動し以て朝鮮內の秩序を破壞し禍を日本內地に波及せしめむとするもの、如し』と

◇過般閣議に於いて斷乎たる處置を執り、根本的鎭壓策を實行すべき方針を決定したるは、固より當然の措置にして、此際一日を緩うせばそれだけ騷擾の範圍を擴大するの虞あり、而して此の根本的鎭壓方針に關しては、吾人多少聞く所なきにあらざるも、今日未だ具體的に報道するの自由を有せざるを憾む

◇李完用伯再び警告文を發したり眞に至誠より出で、惻々として人を動かすものあり、鮮人たるもの宜しく反覆熟讀して自ら省みる所なかるべからず

◇騷擾のために普通學校の新入學成績如何を危まれしが各地よりの報を綜合するにさしたる影響を受け居らざるもの、如し、是れ一面には朝鮮良家の多數が騷動に關係し居らざることを證するものなるべく、さりとて露國其他の無資產階級の跋扈は決して等閑視すべからず、或點より見れば、此の方が却つて危險を釀すべきの虞あり

◇何はともあれ既に決定せる根本的鎭壓策の實行は日ならずして其効を奏すべきを疑はず由來朝鮮人は因念の好き人間なり、トテもダメだと斷念のつくときは、臍を固め穩順に返るは歷史の證明する所、吾人唯其日の至るを待たんのみ

◇拔本的掃蕩方針 朝鮮騷擾と我政府の對案

朝鮮の騷擾は時日の經過と共に漸次險惡の度を加へ官衙を襲ひ官吏を傷害し殺戮放火を敢てし既に純然たる暴動と化し去りたるが其背後には陰險なる煽動者あり而して世界的危險思潮は此間に際を求めて侵入せんとし延ひて帝國の禍亂測る可らざる兆候を呈し來れるを以て政府は幾日來愼重審議の結果此際拔本的に禍根を一掃し絶對に朝鮮の治安を維持し以て帝國の威信を傷けんとする者無からしむるの途に就て斷乎たる具體的案件の決定を見たるが右案件は八日の閣議を經て多分疾風迅雷的に實現さるゝ事となる可しと(東京特電)

◇對比無野心言明

比律賓議會議長は桑港に於て日本は比律賓に對し今や全く何等の野心を有さずと信ずる旨言明せり(桑港電報)

實用英語 女子部 夜學 ◎會員募集◎
來る四月十日より新學期開始す 毎週月、火、木曜日夜 外人教師數名出席
女子部は十日午後三時より開設し晝間授業の設定に付希望者は來會申込あれ
旭町二丁目 メソヂスト教會內(電話一五六五番)　會

若き男女の必讀書出づ (最近刊)
生殖器學全書
洋裝美本七百餘頁 價參圓五拾錢 目下割引送共貳圓八拾錢
男女の愛はこれ天の與へし人生の幸福なるも、從來これを秘事として人に語るを避く、されば若き男女はこれに關して人に聞く事能はず知らず〳〵不幸に陷り、又は人生快樂の滿足を知らずに不幸一生を終る者少からず、されば昔は嫁入道具の一として本書の如きものを必要とせしも偶然に非ざるなり。斯道大家ドクトル先生我讀者の熱望を入れ本書を著述さる、內容の豐富、文章の艶麗、挿入の寫眞等よく縷く人をして悉く滿足せしむ。內容の豫約は以て出版界近來の誇りたるべし。密封小包送本(代金引換)にて直ちに送本す)直ちに申込まれよ郵送料共壹圓八拾錢、特に目下特別割引中なれば此際至急御註文あれ
發行所 東京神田區小川町[illegible] メイル、タイムス社

保險金受領廣告
一金壹千圓也
右は拙者妻賀子儀豫て共保生命保險株式會社と保險契約致居候處過般死去仕り頭書の金額正に受領致候茲に同社の確實なる事を謹告仕候也
龍山漢江通十一番地電話長九四七　山本幸次郎

大正八年 春季種苗價表
東京內藤新宿局隣 日本種苗株式會社

ラバロイド カーバイド 新荷着
コールター 岩田金物店
平壤五本二町 電話五五二
製造元との約束により安價に應需仕候 大口の御相談にも應じ可申候

新菓賣出し
◇金剛山產松茸の公賞の化應用◇
朝鮮名物
金剛饅頭
金剛餅
京城本町 龜屋 電話二七四七 二五番

有價證券現物賣買に就て
今や經濟界は世界共通なり英國政府に於ける一擧手は、直ちに我國の價格に影響し、米國の財界に於ける一投足は速に株式諸債の動搖を招くなり。斯くの如く世界の經濟界は、我國の商工業にも深き關係を有し、株式市場に一大影響を及ぼす事あり、此等の關係を察して確實なる株式の選擇を爲す事は、資產家の最も注意を要する所なり。當店は多年の經驗と確實なる調査とに依り、專ら有價證券の現物賣買に從事し、御客樣の御利益を圖り、誠實を旨とし取引仕候間、何卒御用命の程奉願上候。
東京 大阪 竹田一 下命所[illegible]
有價證券現物賣買 二葉屋株式店
京城府永樂町二丁目三十三番地 電話長九百十四番

◇灌佛會 今日は御釋迦樣の降誕會だ、本町三丁目淨土宗開教院では本堂に花御堂を設へ誕生佛を安置して降誕會を催し甘茶の接待があつた、朝來の好晴に善男善女の參詣が絶ゑなかつた、圖は開教院の降誕佛である。

◎學校衛生の進歩
＝十一日目に見廻つた校醫が毎日一回宛見廻る事となる

總督府では八日府令を以つて學校醫規定を發表し、規定により ▽校醫の管掌 すべき主なる事項は(一)換氣の良否(二)採光の適否(三)室內の温度(四)暖房裝置の適否(五)机腰掛及其配列の適否(六)學校清潔方法實行の狀況(七)飲料水の良否(八)職員生徒の健康狀態(九)前各項の外衛生上必要なる事項等であるが校醫は毎月少くも一回教授時間內に於て學校及寄宿舍の視察をなければならぬ事こなつたに就き ▽府學務課員 は語る府管內には高等女學校一小學校九幼稚園一合計十一の學校に對し校醫は一人で一日一校宛を巡回して居るから十一日目に一回の割合である然るに今回の規定によれば毎日一回宛各學校を廻らねばならぬこすれば一人の校醫では到底廻り切れない從つて校醫の增員を行はねばならないこ云ふ事になるが一人の校醫で三校を受持つこしても約四人の校醫を要する又附近の ▽醫師に囑託 するこしも何れも相當經費を要する事であるから組合にも計つて何こかいゝ處置を採り度いこ思つて居る』更に大門小學校長は語る『市內の各小學校では年二回の體格檢查を行つた上眼病に就ては特に注意して豫防して居る結果非常に成績がいゝが何分にも千円位にて一向しか校醫が廻つて來ないので其間に起きた ▽生徒の疾病 に就ては專門家でない吾々の一寸見分けのつかない點があるそれが今回の規定で補ふ事が出來る樣になるこすれば誠に結構な事である』こ

□皇后陛下行啓
三井慈善病院へ

皇后陛下には七日午前九時三十分青山御所御出門典侍大森以下供奉して三井慈善病院に行啓あらせられ同病院の設備及患者治療狀況を御覽あらせられ同十一時御還啓あらせられた、當日病院患者に對し夫々御下賜品ありたり(東京特電)

◎十四回目の怪火
又しても大連埠頭の豆火事
原因例によつて不明

七日午後三時三十分大連埠頭東の積場第三監視役所第二十八號倉庫前より發火し野積大豆二十車を燒き同午後四時十分鎭火せるが此の損害三萬五千圓にて原因は例に依りて不明なるも從來の如く放火たる事は疑ひ無く埠頭の豆火事は今回が十四回目にて大連埠頭は今より又復恐怖時代に入る可く發火こ同時に國澤滿鐵埠頭事務長、中野民政署長、田中警務課長は自動車を飛ばして現場に至り埠頭內外の交通往來を禁じ極力之が調査に努めつゝあるも犯人は依然こして不明なり(大連特電)

◎明治神宮の競技場
一萬五千坪の大競技場 明年から五年で竣工

明治神宮外苑買收家屋は此の六月に立退く事になつて居るがこれが立退くこ競技場の土木工事をドシドシ進行して明年から建築、樹木植込み其他の工事に着手し五ケ年で竣工の豫定である場所は外苑の西北隅の凹斜地で面積は約 ▽一萬五千坪 の大競技場で四百米突の楕圓形のトラストが出來る、トラストの中央をフートボール、玉投、鎗投などの競技場に充て又中央には二百米突の直線のトラックを造る此のトラストでは自轉車、自動車、マラソンなどの競技が自由自在に出來る 此のトラストの西側には横の長さ二丁の ▽鐵筋混凝土 の建物を建て其の內に三十幾段の觀覽席を設け中央には來賓の休憩所、洗面所等の特別の設けを爲し階段の一番下には運動の選手に充てる處間、風呂場、休憩所及び一般の食堂を造る又楕圓形のトラストの東外ご芝生の觀覽席こなり其後に幾千の樹木が植ゑられる(東京)

◎石炭の値上に連れて
＝湯錢を始め總てが騰る＝
滿鐵側の値上の理由
愈々三四日中に發表される

滿鐵撫順炭の値上を近くやつて其上に朝鮮供給炭を制限するのは不法であるこ云ふ議論が一部に唱へられて居る滿鐵營業部販賣課の岩川所は語る ◇近來滿洲方面 の工業發展は驚くべきものである滿鐵及其他の炭坑から産出する石炭並に移入する石炭では全般の需要を充たし得ない實狀である現に昨年の如きも哈爾賓の製糖會社では燃料缺乏の爲め大豆や豆粕を使用して居た程である昨年末の滿洲に於ける石炭缺乏は非常なもので一般經濟界にも其影響を波及した程である滿鐵、此窮狀を見るに忍びず炭坑の總てに對して最大限迄採炭して之を補給しようこ努めて居た現に坑內作業なごでなく ◇地表の泥を除 けて炭層の上から發掘する樣な大規模な事で採炭して居るが未だ不足であるから[illegible]て重役と協議し上げ値[illegible]四日中には發表せられる事こ思ふ次に朝鮮供給炭に就いては總督府側こ ◇隔意なき協議 をして了解を得て居るが之も[illegible]上で發表される筈である、石炭の需要が三百四十八萬噸もある所へ會社の採炭量の最大限が二百七十萬噸で四十五萬噸は滿洲內で內地炭其他を移入代用しても結果十六萬噸の不足こなる昨年も會社は年度契約の分は現金を以て代品を買つてやるこ云つた方法を執つて來たから本年も約八萬噸は現金で代へるこしても八萬噸の不足になる ◇各港の滯貨 は偉大なもので營口、大連なごは雨期を控へて居るのに依然野積けば腐つてしまふから[illegible]波が來るので、石炭ばかりも運べないから貨車の方も思ふ通りに行かないので困つて居る、兎も角も假りに鮮に十五萬噸の石炭を運ぶこしても現在は困難[illegible]此點も十分研究してから朝鮮供給炭の數量も定まる次第である[illegible]

◇撫順炭の値上 は確實の特約店三國商會で聞けばこすが値上期日は本月下旬か來月初めで現在の廿圓臺から廿五六圓臺に上るこ思ひます夫は安東以北の値上された處から考へてゞす、然し未だく石炭は一般物價に比して高くはないでせう云々』こ聞る、石炭値上の結果は早速瓦斯に響き之も値上げされるであらう聞く處によるこ七八錢になるこの事だ電氣瓦斯電車等總ての値上が遠からず來るのは止むを得ない結果であらう

◎料亭の閉店を電話で強要す
四五名の連累あり

黃海道遂安郡遂安面石湖里生れの京城府[illegible]十番地料理屋又春館雇人趙永元(三二)は去る三月廿八日午後九時四十分頃平壤隣路里料理店迎春[illegible]に架け事務課に對し忠告を以て ◇營業の有無 を問ひ此休業せざれば制裁を加ふべしこ脅迫し其儘電話を切りたるが李納は直に電話番號を取調べたるに其番號は前記趙永元が被雇先なる ◇又春館の番號 なるこ判明したるより直ちに平壤署に急報したるより宿直巡査は又春館方に赴き難なく犯人趙永元及居合せたる不逞鮮人四五名を引致し目下夫れぐ取調中(平壤)

◎自轉車で流言
を流布する樓主

平壤府[illegible]百八番地生れ當時平壤府[illegible]は去る三日[illegible]官が協力[illegible]て各戸に國旗を揭揚せしむべく勸誘しつゝある後より自轉車に乘じ國旗を揭揚するものは殺さるべしこの流言を放ち事務官等の行動を妨害し[illegible]加へたるを以て直ちに逮捕し目下取調中(平壤)

◎色封筒に女文字
郵便物にも春の影響はある
屆先の明らぬものが日に十二通
今日此頃の郵便局の繁忙さ

日々十萬からの郵便物を取扱ふ京城郵便局の繁忙さは目の廻る程である。中でも配達に苦るしむ郵便物には ◇一番手古摺 るさうである、郵便物が符箋を附けて運付される迄の順序は三回迄は他の集配人の手に廻して探させるが夫でも不明な場合は集配人一同が食堂に集合した時に一同に廻して見せる之でも分からぬ時は差出人に還付するこ云ふ手續になるのである。所が差出人の宿所も無記名な場合には還付する屆先きが明らず、結局は遞信局へ廻しこなる其處で遞信局の掛係は一々之を開封して文によつて返還若しくは ◇配達の出來 る手紙は局で更に封をして處置するし全く配達の見込が付かない分は法律に依つて或期間迄で保管して後に燒き捨てるこう云ふ風な手紙が日に十二通からあるさうだ、又面白い事には此種の手紙には男女間の文が多いさうである。春になるこ封筒も豔めいた色ものが使はれ女文字の物見遊山の誘ひ狀なごが殖えて來る、局で困るのは ◇新しく京城 へ來た人や府廳こ違つて人が來るこ直ぐ其日から手紙の往復があるので配達係は仲々骨を折る相である京城郵便局では二三年前から名寄せの臺帳を作つて居るが移轉したら局へ名刺でも構はぬから新移轉所を報知して置くこ局でも配達を受ける人も便利である、局こしては移轉名簿を備へ付けて集配人の日々見聞して移動を採錄して居るけれごこんな事は各人が局へ知らせてやれば局の手數はごの位省けるか分らない之は是非一般に御願したいこ局員は云つて居る ◇新町へ出入 る郵便物は端書よりも信書が多く差出人で本町さか黃金町さか曖昧な住所さ氏名があるのは面白い此種のものは名丈けのものもあるが夫は檢番か組合へ廻して配達して貰ふ事にして居る、京城で役所會社は別こして商店では山岸新井各商店が信書の數では第一である、集配人の苦情は『私達の困るのは表札のない事が一番こす又 ◇犬が吠付い て人を寄せないのには困ります夜間速達の分は郵便受がないこ戸を叩いて起さねば起きない時は翌朝に廻すので一便遅れる譯になります郵便こ云つて直出て來て受取つて下されば心持が好いのですが默つて居たり其處へ置いて行つて呉れなぞこ云はれるこ不快な心持になります』こ云つて居た。

小さき新星
ぐピアノこ英語に堪能な
高等女學校優等卒業の才媛
和田はる子さん

高女優等卒業の才媛、和田はる子(一七)さんを南山麓、旭町二丁目の御宅に訪れました。綻び初めた桃や櫻の蕾が廣いお庭を彩色つて玉を轉がす樣なピアノの妙音が靜かな春の空氣を破つて洩れて來ます、色白で美しいはる子さんは虎の皮を敷き詰めた洋式の應接室で ◇麗しい瞳 を窓外に向けて『私の好きなもの、それはピアノこ英語で御座いますピアノは山縣夫人やフランプトン夫人に就て彼れ是れ三年も稽古を致しましたが一向に延びませんので自分の手を恨んで居ます、英語こ申しましても實質の初歩で研究こ云ふ程では御座いませんが ◇文學方面 の書物を繙いて居ます、進校の事に就いては色々こ物色もして見ましたが私の趣味嗜好から申しますこ神戸にある學院が適當だこ思はれますので其校へ入學する事こ致しました、が、出發それはまだ定まつて居ませんが母こ同道する事こなるでせう』こ仰つて ◇ピアノを 指差し『永い間私を樂ませて呉れました、あのピアノこも暫時の別れを告げなければなりません』斯う假彼つたはる子さんの眼は異樣に光つて居ました。

(寫眞ははる子さんのピアノ彈奏)

咲初めた櫻(倭城臺)

滿都の春
咲き初めた京城の櫻
＝愈々京城にも春が來た＝
見頃は十三日の日曜日

昨日の雨で洗ひ出されたかのやうに京城の春色は生々こして色彩を呈し初めた。各地の花信に唆かされて日一日こ膨らみ行く ◎櫻の蕾 を樂みに待つて居た京城市民も眞に春らしい氣分が味はへるやうになつて來た南山には薄霞が降りて公園の櫻や總督府裏櫻谷の櫻はボッボッこ蕾を破り初めたそして連翹は既に爛熟の春を誇り桃も赤艶やかな花蹊を開いて居る殊に總督邸を包む ◎柳の芽 が生々こ萌え立つて居るなご實に綺麗である。昌德宮苑の櫻は未だ閉苑中だから判らないが南山漢陽神社公園櫻谷一帶の櫻は次の日曜(十三日)頃からは花見が出來るであらうこ思はれる

春や何處
各地の花信

朝鮮にも春が來た!!騷擾がらうこ寒氣が再來しようこ、そんなことには一向頓着しないかのやうに、春の女神の彩筆は先づ南の方から地上のを彩つて行く!!!

◎今が見頃の大邱
＝櫻は早や八分の盛り
＝人に埋つた達城公園

京釜線の櫻の名所達城公園の花は今が見頃なり、公園の入口は早八分の盛りを見せ大邱神社前は兩側の花ならざるは無く、黑衣白衣の人花の下に花に浮かれて春の歡樂を恣まゝにし醉つて歌ふてさんざめかす、花見衣を着飾たる紅裙撫の手拭ひに花見氣分を微見せ六日の達城公園は花見る人、人見る人に埋まれり(大邱)

各地の騷擾

△陰城郡長湖院(忠北) 五日多數の暴民騷擾し出でんこせしも彈壓を加へ解散せしめたり
△青陽郡定山(忠南) 六日多數の暴民騷擾せしが彼等に死六、負傷若干を出せり
△河東郡辰橋(慶南) 六日市日に乘じ騷擾あり彼等に若干の死傷者を出せり
△金海郡進永(同) 五日の市日に乘じ多數の暴民[illegible]を襲ひ暴行を働きたるが彼に負傷[illegible]內地人三名負傷せり
△南海郡古縣面(同) 六日多數の暴民騷擾せしが彼に負傷者一名を出せり
△長淵郡苔灘(黃海) 五日多數の暴民が官廳在所を襲ひたるが百五十餘名逮捕されたり

運動界

平壤の野球試合
平壤三菱、野球の對戰

平壤野球團對三菱野球團の野球試合は去る六日午後一時より平壤中學グラウンドに於て催された、外田氏審判、平壤軍先攻にて試合に入て第一回戰は平壤軍無得點なりしに ◇三菱軍大に振 ひ一擧三點を收め意氣大に昂る第二回平壤軍一點を奪ひたるも餘勢なく西軍愼重に戰ひ第四回迄無得點第五回に平壤軍形勢挽回に努めたが[illegible]陣容漸く亂れ初めたから三菱軍は機を逸して遂に得る所なく意氣銷沈の狀態の虚を突いて無人の境を行くが如く得點續々なく ◇十八對一にて 三菱軍大捷し午後四時半試合は終つた、三菱軍は南無妙法蓮華經なご大書した幟を建て來場せる五十餘名の應援團は歡呼躍躍選手を圍んで歸浦したりこ

◇獨賠償支拂議決 [illegible]

は平穩に歸せり(倫敦電報)

◇獨勞働者罷業 [illegible]

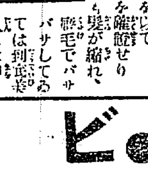
田中陸相を始め次官各局長其他[illegible]局長先づ田中陸相の訓示あり午前十[illegible]

◎連絡船上陸客 七日午後入港の壹岐丸一二等客[illegible]

◎七日午前入港高麗丸一二等客[illegible]

京城地方 天氣 晴一時曇
▼京城今朝氣溫▲ [illegible]
日出六時九分 日沒六時二分
滿潮 仁川 午前[illegible] 午後[illegible]

急轉直下 織物大暴落につき半値段
停滯品投賣 半値段 大暴落
絹大島絣 大島銘仙 綿入大島 [illegible] 兵兒 縮緬兵兒 [illegible] 織物捌所
田村質店 黃金町長橋町入口 電話二九一六番 商品擔保便利取扱(大口歡迎)



くせ毛縮毛は唯だ一瓶でなほる 藤本藥學士[illegible] 全國の化粧品店藥店に在り 發賣 東京銀座弓町 大阪安土町 中南定太郎

春の風引には
大學病院 模範方劑 カゼピリン KAZEPIRIN 解熱 完全 東京 風 本舖 淺野榮天堂藥局
鮮滿無比の特約店にて販賣す

◎記帳係入用 簿記に精通せる[illegible]本人履歷書携帶[illegible]案內係迄
◎新荷著 ビータ 京城本町 龜屋 電話二七番 四七五番
釜山名商店案內
勸農商會 紙 藁 鷄卵 [illegible] 農具 肥料
石鹼界之霸王 スマートトロン 精選品質本位 株式會社トーマス 釜山草梁
釜山 島田糸店 糸物類專門 電話五七八
福榮商會 釜山 酒 精米 燒酎 西貢米 碎米 砂糖 麥粉 食料品
長岡商店
洋酒・罐詰 糖粉・煙草 釜山 あづまや商店 電話三五九番 振替京城三九八
雜貨の仕入なら何でも揃ふ 釜山の明治屋 お得意送り品仕候
機械材料 各種 岩瀨商店 釜山本町一丁目 電話七五番 振替京城七八八番

◇カイロ、アレキサンドル沿岸平穩

公報に曰くカイロよりアレキサンドルに到る沿岸並に鐵道沿線地方……

◇陸軍參謀長會議

陸軍參謀長會議は七日午前九時より陸軍省幹部室に於て開會各師團參謀長支那駐屯軍參謀長本省より及び留守師團參謀長朝鮮軍及び臺灣東洲陸軍部參謀長青島守備軍及び……を午餐會に招かれ午後一時より再び陸軍省に參集注意事項の指示あり四時半散會せり(東京特電)

……本年受驗者總數は四百九十名の多數なり未だ初日なるに依り、全體の成績は判明せざるも、今迄の慶內生に較べ比較的良好の傾向なりと

今期議會 鮮滿關係問答(卅五)

貴族院豫算第三分科會に於ける

朝鮮鐵道(二)

▲男爵安場末喜氏　御說明に依りまして成程石炭と云ふやうなものの供給には便利と考へますが例へば新しい線路を建設すると云ふやうな關係に於てはどうなるか矢張り却て便利である委託した方が便利であると云ふ御考へでありますか

▲政府委員(鈴木穆氏)　新線の敷設は全然總督府の計畫裝置に依りますので今後滿鐵の意見を聽くと云ふ意味ではありませぬ、それが爲に掣肘を受けるとか或は不便であると云ふことは毛頭ありませぬ

▲藤田四郎氏　唯今尙ほ伺つて置きたいのでありますが朝鮮の地圖を見ますと鐵道の通つて居る所は殆んど幹線と申すべく是が十數年經つて六朱の利益を得て良好と云ふ御考へでございませうか鐵道は年々利益が擧つて行くのは當然の話でありますが其幹線に向つて六朱の利益が出るのは良好の結果と云ふのは殆んど解し得られない又補充として三四拾萬圓と云ふことでございますが鐵道の常に此減損耗と云ふものの向ひまして必ず其の資本に對して相當の經費を掛けて行かねばならぬ中々そんなものではいけますまいと思ひますから、それは三四十萬圓以外のものと思ひますが如何でございますか又運送は滯貨等が少くなつて宜しいと云ふことでございますが本員などは近頃奉天に小包を送らうと思ひましたが遞信省の職務でございますが奉天の小包は手間が掛るから受付けぬと云ふ段々詰判して受付けたが一箇月以上も掛ると云ふ筋がある矢張是は遞信の仕事ではございますが矢張鐵道が重なる關係と思ひますのでそれ等に付てどんな事情になつて居りますか併せて御示しを願ひます

▲政府委員(鈴木穆氏)　第一の六朱の利廻りと云ふものは餘り多くないようであると云ふことでございますが是は御尤もなことには存じますが滿鐵との契約は單に從來敷設されて居りましたる京釜、京元線のみでなく一昨年の十月に漸く開業しましたる清津會寧線の如き又唯今敷設中でありまする咸鏡線の如き其他新線路に對しても直ちに六朱の利益を提供すると云ふ事になつて居るのでありまして先刻申上げたる六朱と申すのは全部の投資額に對して六朱の利廻りと云ふ斯樣な意味になります

▲藤田四郎　ちよつと其れに對して……それは二百哩、三百哩もあるものを一哩や二哩年々殖えて來たからとて殆ど勘定に這入らぬと云つて宜しいものと思ひます、ちよつと申せば千哩の鐵道に向つて本年五哩や七哩殖えた所でそれは殆ど勘定に入れないで宜いと思ひます

▲政府委員(鈴木穆氏)　唯今の所で、或はさう御覽にもなるが併し京元線、あ……ますとか湖南線是は合いたしましても三百哩ばかりに達しますが是等の新線に對しましても請ひ六朱の配當を致すと云ふ譯でありますので又咸鏡線の如きは昨年議會の協贊を經まして每年一千萬圓づつ投資して行くと云ふやうになつて居ります故に政府圖臉の支出額に六朱の配當を受けますことはさう不利益なことでないように考へるのであります時局の爲に著しく貨物の輸送が殖ゑますし殊に滿鐵は滿洲の貨物を朝鮮の鐵道に依りまして不斷に出し又場合に依りますと元山から敦賀の方に廻つて居ると云ふのもあります斯樣に貨物が朝鮮鐵道に非常に輻湊して參りました結果を得て居るのであります是までの從來の鐵道成績に比べますと餘程宜しいと申さなければならぬように考へるのであります其の次に補充費のことを先刻申しましたが、唯今藤田君の御仰いましたる諸修繕等は所謂保存費と云ふものに屬しますので、是は當然全部滿鐵の負擔であります、政府は常に線路、貨車其他の運轉材料に付て檢査を致して居りまして嚴格に保存費の支出をやらして居ります補充費と申しますものは停車場の構內の線路を延ばしますとか或は復線にしますとか或は倉庫を建設する停車場を新築すると云ふ風な其他運輸に對して至大の便利を開きます諸設備を申すのでありまして……

▲藤田四郎氏　收入の幾割位が修繕に充てて居ります

▲政府委員(鈴木穆氏)　唯今調べまして御答へすることにします、それから其次に滯貨の問題でありますが近來滿洲に於きましては非常なる滯貨がございますが或はそれ等の爲に奉天へ輸送が遲れることがございますまいか朝鮮に於きましても相當貨物堆積は免れないのでありますが併し輸送が非常に遲れると云ふような程度にはなつて居らぬように記憶して居ります

▲鎌田勝太郎氏　鐵道の箇きで御尋ね致たうございます此鐵道の略圖を頂戴して居りますが此略圖の中に色線が色々示してありまする輕便鐵道の馬山から致しまして全州と一方は馬山から松汀里に至る線がありまするが是は總督府に於て何時から御掛りになるのでありますか又線路は大抵確定して居ると云ふのでありまするか是は唯だ大體の線路であると云ふことでありまするか之に付て簡單な御說明を願ひます

▲政府委員(鈴木穆氏)　唯今の御尋ねのは輕便鐵道でありまして政府に於て施行するのではございませぬ

▲鎌田勝太郎氏　此輕便鐵道の補助法の金額四十萬圓何ほの內に這入つて居る分でございますか未だ其處まで至つて居らぬのですか

▲政府委員(鈴木穆氏)　八年度に完了する部分だけは這入つて居ります補助額が八萬九千四百圓と云ふものを見込にであります

大連近事

老人慰安會……汽船……徵兵檢査

◎新造汽船　川崎造船所にて建造中なりしが近く同所建造に係る汽船二三隻の進水を見るべく豫定の由又華盛頓丸(一萬噸)は既に二月進水を了り三月廿七日容船に神戶を發し四月一日大連に入港豆油十萬箱、大豆其他にて約七千五百噸を積込ポートサイド港に向け四日午後出港せり

◎老人慰安會　第三回目の大連老人慰安會は五月初旬頃催の由にて本年は六十歲以上の老人のみにて二千名を超ゆる豫想は市內歌伎座にて七十歲以上は附添ひを要すことは床しき催しと云ふべし

◎徵兵檢査　大連に於ける本年の徵兵檢査は四月八日より……

●貴重な藥になる野外の植物(下)

安藤善四郎(投)

クコ(漢名)拘杞

クコ(漢名)枸杞の根、皮、果實、葉は色々の病氣に効驗ありとて昔から民間に用ひらるる者である。支那人は人蔘と同じく非常に之を常用する。傳へ云ふ昔支那の濟安縣の人朱孺子、此の植物の根を食ひて直ちに化して仙人となり、飛びて前方の山に至れりと。僞永淳水の開窓積談に次の記事あり。老子曰く生れて百歲を以て限りとす。節護者は千歲に至るべし。人事を以て意を累さず淡然として無爲なれば神氣自ら滿ち不死の藥となると、又彭祖が曰く人身虛無なれば衣を思はず思ひ無ければ心勞せず神極らずして千歲を得べきなりと斯はあれども中々仙を學ぶ人ならず。いかで思慮なく活業ならんや。又まい神氣を勞せずとも生得虛弱なる者は病の爲めに神心に天壽を保つの術なからん。既に中年多病にして中年に至るまで恙秋月を籠店に看せぬこと多かりき。されば愁眉を開くに由なく一向鍼灸藥餌をもこめ病苦を忘れんとするのみなりしを或人一方の良藥を敎へたまはりしより今三十餘年來病を忘れて平安なり。抑もその藥といふは最もやすき一品にて製するも亦かたからず。世人一統に之を知る枸杞の煎じて常に服すれば必ず延齡の妙劑なり。儲に服して腹を和げ精を增すこと神の如し。されば拙子は枸杞の子葉を一薄刻み陰干しに貯へおき、煖爐に乾かし日每に之を茶の代りに服しより三四年にして持病を忘れ、五六年にして壯健なることを正に還童氣を覺ゆ、枸杞にて齡をやすらかに今六十餘年を保ちたり。生を食ふ所偶にあらねど病を除かれし嬉しさに、世に在る人の親疎を論ぜず、此の枸杞を服して補元精盛の功を得さしめ、自然萬物の愁を除き天壽を保ちたまはらんことを願ふや拙子が丹誠の老婆心を啓く十方に告げたてまつるのみ……。

此の植物の功能こいふのを擧ぐれば次の通り

◆根皮　は主に解熱清凉の効あり。又よく肺腎を養ひ咳嗽を治し頭痛を去る

◆葉は　心肝の熱を去り胸の煩熱を除ぞく

◆枸杞の實　は精を補ひ肺を潤し陽を起し目を明かにし渴を止め咳を鎭む

◆痰咳　の妙藥には桑の白皮、枸杞根皮各一匁甘草五分右三味を水二合に入一合に煎じて用ふ

◆枸杞酒　は虛を補ひ勞熱を去り肌肉を長じ顏色を增し人をして肥健ならしむ、枸杞酒を造るには生枸杞の實五升を搗きつぶし絹の袋に盛り、好酒二升の中に浸して密封しおけば二週間にして成る

◆眼に　翳膜を生じたるときは枸杞の實を搗て其の汁をしぼり每日四五度づゝ目の中にさしてよろし

◆齲齒　の痛む時には枸杞の根の白皮をとり醋にて煎じ口中にふくむべし

枸杞は植物學上茄科に屬する灌木であつて野外到る處にあり。莖は

細く柔く鋸狀をなす。高さ四五尺より一丈近くに達す。莖刺あり。葉は長楕圓形又は卵形で互生或は三葉叢り生ず。葉の長さ一寸餘其の色は濃綠色にて基部は漸く狹し。春若葉を摘んで食用にすることが出來る。春夏腋に當椒の花に似たる紅紫色の小い花を開く果實は卵形の漿果で長さ五六分熟すると赤色を呈す少し苦味を帶びて甘い。中醫寶鑑によると、枸杞子は性寒一云平味苦一云甘無毒補內傷大勞嘘吸堅筋骨强陰療五勞七傷補益精氣易顏色變明目安神令人長壽

鮮米改良の前途(下)

慶尚南道米穀檢査所主事　木下方三氏談

而して私は自身の希望を以て兵庫縣米穀肥料市場を辭し明治四十年二月に渡鮮し先づ釜山に上陸して其情況を伺ひつゝありしが當時釜山穀物市場の書記長缺員しつゝあり紹介する人ありて此の任に當ることとなつた茲に於て先づ釜山の米穀商取引の情況を知る事を得て漸次市場の改善等を役員に謀りて以て漸う一歩の域に至たのである此の時に於て朝鮮米の改良を唱ふる事屢々にして產米檢査の必要を說き以て新聞紙に發表したる事もあつた然れ共何分朝鮮農家の幼稚なると其農家の經濟狀態よりして到底商人の手を以て改善を進むる事能はざるものにて私の希望も充分に容れらるゝ事も出來ざりし然るに其後日韓併合し總督府となり米種改善及び作法の改良等と漸次進步し遂に米穀檢査の施設なり大正四年八月より各道に認められ慶尚南北道の如きは米穀改良組合なるものを組織して道廳の監督の下に檢査を施行するに至り慶尚南道米穀改良組合の理事として私は此米穀檢査の任に當つた而して大正六年度に於て本道の經營に移し引續きて檢査の事務を行つて居るのである斯くの如き經路を以て引移り今や各道產米も大いに改善を加へられたる事は事實にして日本に於ける需用の增加に徵するも明かである左れば現今の產米は決して昔日に見る能はざるものあるは論を待たざるも然れ共尙ほ朝鮮米の前途の改良は中々遼にして充分なる改良の餘地あるが故に前途の改良に對し聊か私の愚見を陳べ以て朝鮮米の改善を謀りたき希望である

◎鮮商に注意書

大邱商業會議所

大邱京町及び本町一部の鮮人商店は門戶を閉ぢ休業したるより官憲及び商業會議所員は各戶を訪問し業務の營業は怖るゝに足らず至急開店する樣懇切に說きたるより其日は直に開店したるも尙多少の休業者あり斯ては經濟上に及ぼす打擊少からざるのみならず延いては他に多大の影響を及ぼすの恐れあるを以て大邱商業會議所にては一般鮮商人に對し左の注意書を發せり

『今回大邱鮮人側商民一部の非違的なる脅迫に因り閉店を見るに至り候處今や諸官憲の周到なる市民保護の方法は十分完備せるを以て稍後市民は決して不逞の徒の爲めに何等の迫害を蒙るが如き事なかるべく若し是等無稽に畏怖して閉店等輕擧を繼續して日々の商業取引所を休止するが如きは經濟上其家の損失莫大なる而已ならず一般に及ぼす不利測られざるものあり依て各位は稍後官憲の保護に信賴し從前の通り安心して營業に從事あらん事を此段特に御注進申上候也』

◎大田經濟界

金融狀態不振

大田に於ける三月中の經濟狀態に就き各當業者の意見を聞くに物價の下落貨物移動の不活潑過般來の地方民心の動搖と亦一面には穀物思惑者に對する當業者の貸出警戒時價一二割方下落したる等が重なる基因となり經濟界は不振裡に終りたり而して四月に入りても人心を一致する好材料なき限りは依然現狀を繼續するならんと

◎寧越重石鑛有望

……株式會社所有鑛山中江原道寧越郡の九東重石鑛山は其鑛床……大品位優良鑛……を見ざるに至……技術家が實査を爲したる結果何れも稀なる鑛床なりと稱せられ商工委員『クレメント』氏も入山數日に亘りて精査の上未だ曾て斯の如き重石鑛床を見しことなしと云へり昨年中全鮮の重石總產額約一千餘噸中其四割强は實に本鑛床の生產なり實例の證明する所なり品質は近時選鑛設備の改良と相俟つて市場に於て常に一頭地を拔き始ど七十度位の一定標準度を現出するに至れり當會社現今の月產額は約三十噸位なれども尙ほ近く北奉化郡の重石鑛區の測定にして之が採鑛開始の曉は九十噸以上に至り僅に一箇月五十噸以上の精鑛を生產する見込なりと(寧越)

電話讓物

本町二丁目本商店　東電八五五へ

◎鷲口瘡終熄(釜山)

釜山に於ける鷲口瘡は發生以來約一箇月以上を經過したるが既報の如く釜山鎭は前月中旬を以て最早終熄を告げたるも殘りしは赤崎牛島移出牛檢疫所なりしに同所にありても其後牛舍の消毒を行ひ最早再發の虞なきを以て愈々四月一日より解禁するに至れり因に罹病牛は七百六十八頭、斃死廿七頭、未牛五十九頭なりしと

◎鰊三ケ月に約百十七萬圓

北鮮……地方に於ける鰊の漁獲高は客年十二月より本年三月十日迄に……一萬三千百十二噸此價額百十六萬九千七百五十五圓なり前年の漁獲高に比すれば數量に於て四千五百餘噸を減じたるも價格に於て三十五萬九千百六十餘圓の增加を見たるが本年は時に經濟界の狀況と相俟つて其の賣行き良好なりしに因るものなりと

サッポロビール後援

京城日報愛讀者及びサッポロビール愛飲家に限り本切拔持參の方は左の通り割引す

伊國オペラ團割引券　アルゴーニ氏一行

入場料　一等金二圓　二等金一圓五十錢　三等金一圓　各等大人金三十錢引　小兒金三十錢引

大正館

商況

東京現株中値

七日中値	
[illegible]	七七、〇〇
[illegible]	七六、五〇
[illegible]	……
[illegible]	一四八、〇〇
[illegible]	一二七、〇〇
[illegible]	七六、〇〇
[illegible]	五〇、〇〇
[illegible]	一七、〇〇
[illegible]	七、〇〇
[illegible]	一八、五〇
[illegible]	七三、〇〇
[illegible]	一四二、五〇
[illegible]	九六、〇〇
[illegible]	二〇五、〇〇
[illegible]	九六、〇〇
[illegible]	二七七、五〇
[illegible]	二五〇、〇〇
[illegible]	二二三、〇〇
[illegible]	二〇六、〇〇
[illegible]	……
[illegible]	一〇八、〇〇
[illegible]	四八、〇〇
[illegible]	九四、〇〇

東京株式特電

[illegible]

東京期米特電

	高限寄付	中限寄付	五日後場
	三十一圓九十錢	三十一圓三十錢	[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

神戶期米特電

	七日後場	八日前場
寄付	三〇、九七	三十一圓八十二錢
高値	三一、三五	
安値	三〇、七	
止め	二〇、三一	三一、二四

下關期米特電

	七日後場	八日前場
寄付	三一、三一	三一、六六
高値	三一、七九	
安値	三一、三一	
止め	三一、四四	

正報

七日後場　再三買あるが人氣崩れに安し

	當限	中限	先限
寄付	三〇、四一	三〇、五五	
高値	三〇、四一	三〇、五五	
安値	三〇、〇〇	三〇、五五	
止め	三〇、四〇	三〇、五八	

●正米小安し

[illegible]

買人の主張　或は屆く度とこ

[illegible]

商內極めて不進捗

[illegible]

約三十錢安

[illegible]

綿布依然不勢

[illegible]

一票三百五十　粗布三ヱ

六七圓見當

[illegible]

支那粟小堅し

[illegible]

●大豆益好調

[illegible]

次第に强く

[illegible]

●淺草海苔好況

[illegible]

鹽鯛强硬

[illegible]

●乾物類は不況

[illegible]

●內地糖强硬　氣勢は惡化しつゝあり

[illegible]

●白米持合ひ

一時內地正米高に連れて移出註文の引合ひ頻繁なりし白米も昨今白米期米の安移りと同時に人氣立ち……

商談中絶

[illegible]

三十八圓五十錢を維持しつゝあり

[illegible]

●精糖　赤糖

明後は更に三錢高の十三錢より十五錢と跳上げ此邊利喰ひ現れて十二錢と小殘み彼れ是れ一萬俵位の商談成立したるが七八限は稍小甘くと限は三十五錢八限は四十六錢見當に取引運ばれ居る模樣なり而して目先外糖の如何に依りては尙一段、昂進は免るべしと精糖は分蜜の好況に連れて人氣立直り會社の內意は益々强硬に傾ける模樣なれば早晚値上を斷行せむ形勢なり赤糖は貨車輸送の關係上入荷少く……

北鮮雜穀況

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

電話長四〇四番三〇

●各地商況

[illegible]

南大門魚市

[illegible]

生魚米

[illegible]

京城正米

前日の內地期米安と釜山正米の……

仁川期米

八日　今朝天候晴天大阪寄當限三十一圓八十二錢中限三十一圓……

高　二十三錢

西山淅猛烈買瀨　三十一圓臺

切り

見越買買双方

外米代用に先限

飛鐵砲の寄合

▲鮮米の端境期

小口必用に

三十二圓二十錢　仁川築港渡

五十錢迄賣契

約僅かに二三十錢

安い氣配

無狀態の出廻り

內地米信

▲外米と船腹

釜山正米市場

當三十錢安の見

下押五六十錢方

仁川米豆取引所仲買人　株式會社仁川米豆取引所

金子吉田仲買店

電話長二八一〇　電話長二一一九

田中金兵衛商店

演藝案內

有樂館　早川演藝部直營　當る四月九日より特選映畫公開

▲寫眞『マガジン四十五號』　▲實寫『やつこ生きてる』　▲喜劇『氣象制限器』　▲大活劇『黃金の彈丸』全三卷　▲人情劇『青葉の家』全五卷

浪花館　京城明治町　電話二六〇　浪花節二代目東家樂燕大一行

大正館　櫻井町　電話八七三

『飛乘水雷』全二卷　『嵐の夜』全五卷　『山中鹿之助』全四卷

黃金館

大餘興　アルゴーニ氏一團

壽座　京城本町八丁目　電話九七八

新喜劇『無言の大婦』　新喜劇『命廻安賣』　社會劇『繁ちやん』　新喜劇『大風呂敷』

浮き沈み　罪の面影　元祿お蝶

毛を黑く長くつやをだす　本椿香油　大阪西横堀　三宅堂

公告

一、棕梠縄……

京城府

（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）

汽車 京釜線（南行） 同（北行） 京義線 [illegible]

日本名刀傳 十一

東京 田邊南龍講演

長曾根虎徹（十一）

其内に日はトップリ暮て薄月夜、先へ立つて案内して居た小娘の姿が見へなくなつてしまつた 虎『オヤ、何處かへ往つてしまやアがつた是は不思議』と愈背中の娘をきつく押ねる 娘『伯父さん、痛いからもつと靜かに押ねて下さい』と言つたが、虎次郎聞ねぬ振りをして愈強く押へる、娘はもがいて何か爪のやうなもので虎次郎の襟を引つ掻いたから 虎『此奴がッ』と突如女を大地へ打ち付けると、キャッと云つて逃んとするを押へ付ると、コハ如何に大いなる狐であつたから、ウンと首筋を摑んで絞め殺し、カラ／＼と打笑つて『何だ、此様物が出たと驚くことは無い、成る程茶屋の婆アさんの言ふ通り狐狸は出るが高の知れたものだ、唯氣に掛るは最前の追剝の話だ、事に依ると文珠五郎かも知れぬ、其方が却つて油斷がならん、何しろ日が暮て困つたものだ』と彼方を見ると燈火が見ゆるから、ヤレ嬉しやと漸く來つて見ると野中の一軒家、門へ立つて内の様子を見ると、竈で焚いて居るものゝ見ねて、爺が表へ出る様子 虎『少々物申す』○『ハイ』虎『旅の者で原中で日が暮れ困つて居るが、一夜泊めては下さるまいか』○『それは嘸御困りでせう、でも今時分能く是れ迄お出でなすつた、大抵の者なら魔物に化されて、一晩中原中をマゴ／＼するのだが、貴方さんは化かされぬと見ゆるね』虎『イヤ、化されかゝつた、途中娘が病氣で道端で苦しんで居つたから介抱などしてやつて居つたので手間取れて日が暮れてしまうた』

○『イヤ、それだ、それがいつも彼奴の手段なのです、いつも其の手で旅人を化す年を經た狐が此の原中に居るのです、それからごうなすつた』虎『怪しいと思つたから柔術の手を以て彼の娘を大地へ打付け、首筋を摑んで占殺してやりました』○『ホー、オ、それはお手柄でありました、然し其樣な悪戯をする彼奴等は一匹や二匹ぢやごわせん、廿匹も卅匹も居ますから、こて日が暮れて貴方一人で此處を無事に通れるものでない、では家にも取込がありますが、それさへお構ひなくばお宿りなせへまし』虎『それは辱い、では御厄介にならう』と草鞋を取つて座敷へ上がると、屏風の中に婆さんの屍骸が寢かしてある、枕元に線香が立つて居る○『お客さん、此の頃り今夜は家の婆アさんが死んだので通夜をして居るのでがす』虎『それはお氣の毒のこだ』○『私は孫兵衛と云つて婆アさんと二人で此原中に五十年も住んで居やす、私は七十五、婆アさんは一つ下で七十四になりやすが、もう原の中の狐さんでも狸公でも皆馴染で、何處の穴には狐さんの一族が何匹住んで居る、此處の窪には狸公が何匹居ると云つたとも皆知つて居て、何樣な魔物でも私等夫婦には害をしない、ところが此の椽の下にも狐さんが六七匹住んで居やす』虎『それは呑ん氣で誰に氣兼も無くて宜いでせうな』孫『ごいがす、婆アさんも丹健だつたが、昨日から急に病氣になつて、心持が悪いと云つて居やしたが、今日夕方少し前にポックリ死んで仕舞つたので、まア明日になつたら鎧崎へ往つて棺桶を買つて來べいと思つて居るんでがすが、唯困ることには近い寺が少し譯があつて屍骸を埋める事が出來ねから、鎧崎の寺まで持つて往かなきやアなるまいかと思ふんでがすが、何しろまだ鎧崎迄は一里半もあるんでがす、明日鎧崎へ棺桶を買ひに往つて又鎧崎まで屍骸を持つて行くと云ふのも厄介でね 虎『此十町許り先にお寺樣が無いか』孫『あつたんでがすが、もう古く腐れになつて壞れ寺だ、其のお寺に少し譯があるんでがす 虎『ウム、夫れは原の中だけに薄氣味の悪い談がある、一體其譯は何ですかね 孫『まアお客さん、冷飯でも食がらつしやい、鎧崎名物の蕎麥粉もありやすが、蕎麥掻でもしてあげやせう 虎『それは辱ない、では信州名物の蕎麥掻を一つ馳走にならう』と孫『イヤいが、ホンの心許り……』虎『忘れは少いが』孫『イヤ其樣な心配には及びやせん、まア湯でも沸かして緩々話しやせう、お客さんも、ごうか足でも出して寛いで下せね』

通信要話

神田元釜山郵便局長談

數字	親讀シ易キ字	數字	親讀シ易キ字
一	ヘ	二	ニ
三	ミ	四	ロ
五	三	七	ヒ
八	ハ	九	ル八
〇	ム		

此外電報の書方に付注意すべき事項を擧くれば左の如し

（一）電報本文中濁點半濁點ある文字の次には成るべく一の空濁々存し置かること即ち濁點半濁點ある文字は電報の字數の計算上二字に計へられますから斯くすれば字數の計算が容易に出來る利によつて料金の贅用も亦節約出來る利便があります

（二）受信人の居所氏名は成るべく簡明に記載すること若し其記載方が徒らに冗長に流れるときは夫れ丈電報の傳達が自然延滞することになりますと反對に紛らはしき地名ならざる地名又は類似の地名あるときは國名郡名又は所屬名を附記する事が必要であります

四月十日

（舊三月十日）木曜 [illegible]

▼八白▲何事も引受損に終る日也
▼九紫▲ちよつと好き事のある日
▼一白▲意外の事を聞くや知れず
▼二黒▲愉快なる面白き日にして思ひ立ちたる事は行ふて妨げなし
▼三碧▲思ふ樣に物事の運ばぬ日
▼四綠▲力の入れ甲斐なき日なり
▼五黄▲勢ひの可成り好き日なれど猛進することは與々も愼むべし
▼六白▲目上の引立に遇ふやも知れず行ひを正しく福運を待つべし
▼七赤▲福運を握り得べき吉日なれば萬事進んで利益を得べき日なり

花咲く頃の 腦病神經衰弱

起り易い時、治し易い時

■時候の推移と此病

今丁度寒さから暖さへの移目である。此氣候の動搖から第一に冒されるのは腦と神經である其證據には暖い日は何となく元氣附き、外出もすれば今迄溜つてあつた用事抔も整理する氣にもなるが、寒い日は何となく意氣銷沈して、元氣が無いと云ふ風に普通人でさへ陰日向が出來る位であるから況して些の事にも影響し易い腦神經に故障のある人、弱い人は忽ち激烈な神經衰弱症に陷り易いのである日々の新聞記事を見ても春暖の頃には發狂者や、厭世自殺者や、家出の雜報が多いのを見ても分る。

■腦神經諸患の徴候

前述べた如く時候の推移には腦神經に悪い影響を及ぼす時であるから毎に憂慮癖のある人、腦を過勞する人、先天的に虚弱い人々は大に注意して時候の變化に對抗する事を考へて、而して冒されるやうな事があつたら直に適當な處置を探つて重くならぬ裡に防がねばならぬ。併し乍ら外の病氣と違つて最初の内は少しも氣附かぬ事が多い、重くなつてから醫者よ藥よと騒いで見ても中々恢復は容易でない。であるから誰しも腦神經が犯されてる場合は何う云ふ兆候が起るかと云ふ事を心得て置く必要があるのである。

■怎う云ふ場合

先づ腦と神經とが犯される場合には何う云ふ徴候が起るかと云ふと頭が重く覆ひ被せられたやうに感じたり、頻に頭痛がしたりする。逆上勝になり耳鳴、眩暈がして便通の工合が悪くなる。食物は不味く元氣がなく倦易く、忘れ易く記憶が悪くなる。熟睡ができぬ、物事が不安で手に附かぬ、婦人抔はヒステリー球と言つて眼の前に色々の球が浮いて見ゆる樣な事がある。說明すれば限がないが、先づ恁麽容態が一寸でもあつたら其は腦神經衰弱の徴候と見て早く養生せねばならぬ。

■若し捨て置いたら？

今言つた樣な徴候があるのに何其中に自然に治るだらう抔と打捨て置く中に、段々病が募つたら其れこそ大變である、一生をブラ／＼と何事も出來ず、不快に日を送る事になるか、更に一層進んでは厭世的に自殺をする抔恐ろしい結果に陷るのであるから、早い裡の手當が最も肝要である。

■一番良い手當とは？

併し手當と言つても在りふれた腦病藥抔と稱するものとは全然違つて效能の極く確な腦神經丹藥で「島村醫學博士が證明された一腦丸を用ひるのが最良の手當である。腦丸は逆上を引下げ神經を鎭め通便を快し、頭痛、耳鳴、眩暈に効を著し記憶力を增し腦力を進める等凡て腦神經藥として具備すべき效能を最も完全に備へてゐるから、毎に腦を過度に使ふ人は少量宛持藥として腦の疲れを補ひ頭腦を明晰にする効があり、ことに酒を好む人は腦充血を治し中風卒中を未發に防ぐ効がある。

■信用すべき藥

腦丸は現操光も懸賴せる丹平商會の製藥場で專門の技師藥學士達が嚴正なる監督の下に調劑されたもので信用すべき腦神經病最良藥であるから試みぬ人は一刻も早く用ひ給へ。藥價は半週分四十錢から十週分五圓迄種々ある。本舖は大阪心齋橋、東京日本橋區室町の丹平商會其他全國內外の信用藥店で取次してゐる。

治る全くヨクキク此目藥め病の人此良友を撰べ
目藥 一点水
東京築地吉永藥房

京城西小門町一二番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

李太王殿下御嘉納品

神經衰弱 ○精力減退 ○老衰 ○冷症 ○レウマチス ○貧血 ○消化不良 ○肺病 ○ヒステリー ○腦病 ○心臟病 ○腎臟病 ○慢性マラリヤ ○胃腸病 ○病後ノ衰弱 其他セラル

特約大販賣店 京城太平通一丁目 京城日報代理部 電話長六〇九番 振替京城三〇〇番

横綱の ほまれ味噌

內外國の博覽會又は共進會に於て常に名譽最高金銀賞牌を獲得しつゝある
純國產の優等生葡萄酒は
牛久 赤 白 葡萄酒 である!!
高貴御料として專ら貴顯紳士間に愛用されつゝあり
東京本町 株式會社 近藤利兵衛

本品は茨城縣牛久神谷葡萄園に移植せる佛國の優良なる葡萄より生せる純粹の生葡萄酒にて舶來品に比し優秀なる品質を有し且つ運賃諸費關税等なき爲め價格頗る低廉なり

京城日報
第五版

……して迎へられたるが[illegible]……紡績業は[illegible]……向て工業の活躍に向ふ可く勿論紡績業と雖も戰時工業と云ふを得ざ……に活躍を期待し得れ[illegible]……注目を要する所たる[illegible]得べき餘剩能力を有するやは之を……

▲輸出の能力 『何人も我[illegible]……及び與國の物資缺乏に剩じて利益を貪らんとするものに非ず』とて[illegible]……に苦しみ居れり而して白耳義佛蘭西兩國は一九一四年當時紡績[illegible]……機三萬一千臺の紡績業は白佛と同[illegible]……の戰禍に罹り。モスコー附近に在る同國紡績の二百萬錘及び五萬の[illegible]……

▲米國の地位 は世界的中日英米三國に過ぎず戰前米國[illegible]……に於ては自國産棉花の三分の二を[illegible]……國に於ける羊毛は其消費量の半額を輸入に招くものなるが現在の保有額は僅に今後一箇年の消費[illegible]……洲大陸に在りて殆んど其生產力を失ひ居れるに對し米國は世界棉花總產額中其三割羊毛の二割五分を[illegible]……と結論せり[illegible]……重く其際に於て米國紡織工業の責任は重大なるもの也と信ず云云

京城日報

世界の公敵

過激派の魔手東洋に及ぶ

露國過激派の首領等が、全世界を化して過激派主義の下に置かんとの敵謀を爲しつゝある事は、吾人の屢聞ける所なるが、其宣傳の方法は頗る組織的にして、凡ゆる仕掛なることは、吾人意料の外に出づ。即ち露國の過激派政府は、昨年末に莫斯科に一個の煽動學校を設け、ミシチエンコ將軍を總長に任命すると共に、(一)煽動學校は過激思想を全世界に宣傳すべき政府の直接機關とす(二)本校は過激派主義者と其の宣傳方法の教養を司る(三)政府は宣傳支部をストツクホルム、ベルン、伯林、西伯利、上海、印度の六箇所に置くことの方針を決定し、其の宣傳の方法としては(一)宣傳は其の國人をして其國に詭かしむべし(二)宣傳に當りては秘密出版を用ゆる外、其の國民が不平不滿とする事につき、危險勃發せるとき、不平家を誘ひて之を行はしむべしと定め其の統一機關として煽動者總長を置き、ムーアなるものを之に任命したり。而して一方西伯利に火の手を擧げたる東洋方面の煽動者等が、上海に全力を注ぐべく、露都に在住せる多數の支那人を歸國せしめたりと云ふ。此の上海支部は支那日本朝鮮方面を管掌するものにして、秘密出版其他の方法を以て暗中飛躍を試みつゝあるらしきも、今日まで未だ其の巣窟を發見せられず、物騷千萬のことならずや。現に今回朝鮮に於ける騷擾の甚しく惡性化したるは、間島又は西伯利方面より潜入したる不逞鮮人等が、上海煽動支部の手先と爲り、過激思想を宣傳しつゝあるに因ると、別に記せる警察當局觀察の通りなりとせば、惡魔の焰は既に我が狹端に吹きつけあるものと見ざるべからず、是豈に油斷すべきの秋ならんや。

吾人は常に我が民族の日本魂が、世界特異のものにして、容易に他の魔手のために籠絡せられざるを信ずるものなるも、全國多數の民衆中には、時に不心得のものなしともいふべからず、殊に過激派の宣傳方針は專ら無資產階級の下層民を目的とするものなるが故に、此の方面に對する警戒は一層嚴重にせざるべからず。更に之よりも危險なるは新領土に於る新附の民の上に在り。いふまでもなく新附の民衆は、未だ祖國に同化せざるのみならず、内心密に敵意を挾むもの少からざるが故に、機の乘ずべきものあれば、相呼應して反抗の態度を執るを辭せざるは獨り古今の歴史に顯著なるのみならず、吾人が眼前に朝鮮獨立運動なるものを看つゝあるなり。少しく常識に訴ふれば、直ちに其の謬迷なるを自覺し得らるゝ、朝鮮とは沒交渉なる民族自決主義すら、吾人を動かせること彼が如し。一旦過激思想の傳播せらるゝには其の結果の恐るべきや言を要せざるべし。今回政府が斷乎たる決心を以て高壓的に鎭撫手段を執るに至りたるは、固より其所なるも、更に[illegible]支那官憲に交渉し、間島諸洲方面に散在せる根據地は勿論速かに[illegible]一掃するを望みて止まず。[illegible]過激派の世界の公敵たることは英國政治家の宣言せる所の如し。歐洲に於いて究毒を極まゝにするは、我が手の克く及ぶ所にあらずと雖も、東洋方面に於ける[illegible]に至りては我邦は宜しく率先努力する所なかるべからざるなり。

今回の騷擾に就て(七)

方針の確定(上)

貴族院議員　澤柳政太郎氏談

這回の朝鮮人の騷擾は誠に困つたものである、然し斯うした騷擾を起すに至つたといふことも強ち無理も無いではないといふ點も認められる、其の原因は之れを一言にして蔽へば彼等のあるものが何等かの點で滿足してゐないからであるといふことがいへる、朝鮮人は之れを内地人と均しく同等に待遇して行きたいといふことは我等の理想であり又目的でもあるとには相違ないが、今直ちにこれを凡ての事に實行するのは諸種の事情から容されない所が多い、内地人のやうに進んだ權利を、もつと早く得たいと言ふのが今回の騷動を起したものの一部の意志のやうに思はれるけれど前述の諸種の事情は内地人側の事情よりも朝鮮人側の事情によることが多い、則ち朝鮮人の現狀は内地人と同等なる權利義務を負ふ可き程度に發達してゐない、此の發達してゐない文化の程度を高めることに内地人は今努力しつゝあるのである、而して内地人と同等に朝鮮人を取扱ひ得る日の一日も早く來らんことを官民共に祈つてゐるのである、目下朝鮮には自治制も行はれてゐない、教育にしても差別的であるが、但し永久に斯の如きかと言へば私一個としては決して左樣ではあるまいと思ふ、且從來の歴史を經て文化の程度の低い國民であるから一朝一夕にして俄に行はざるのみであるが將來は内地人と同等に取扱ふやうにするといふことが大體の論點であると思ふ、然らば斯くの如き時期の一日も早く來るやうにしなければならぬといふことを彼等にも覺らせ我等も充分に理解してゐなければならない、琉球の如きも内地とは異なつた所の政情を有して居つたのである、然し漸次内地と同化するに從つて町村制即ち自治制をも布くやうになつたのである、又徴兵令も施行されるやうになつたのである、其の結果今日では内地と毫も異なる所が無い迄に進んで來てゐる、斯の如く順次に内地と均しき政治を行ふやうになつても尚ほ且朝鮮人が不滿を懷くならば其れは問題が別になつて來る、凡そ今日の如き騷動といふことは内地にとりて好ましくないことは勿論のこと朝鮮人にとりても何れだけの利益があるのであらうか、自他ともに不利益なることは明々白々である、たとへ經濟的平和的施設の發達が阻止されることは言ふ迄もない、然し人間には打算以外に立ち如何なることも眼中に置かないといふ場合もある、今回の騷擾は一部のものは斯ういふ心理狀態から起つて來たものであるといふことを自分は推察し得るのである

財界の新舊人(51)

金漢奎君

四海生

京城財界に活動せる鮮人實業家中、韓相龍君に亞ぐ行儀の人物を求むれば、指を韓一銀行專務取締役金漢奎君に屈してよからう、一時破綻に瀕せし同行も君の入つて專務の椅子に就きし以來、メキ〳〵面目を革め、朝鮮人側の銀行として漢銀並に商銀には尙ほ一籌を輸せずとも、勝るとも劣らずといはれる、近來業績の發展は刮目に値するものである

金漢奎

△君は京城の人、明治十年に生れ舊官立日語學校の出身である、その後教師や、多くの官歴を經て、併合前には度支部書記官會計課長たり、總督府となつて中樞院副贊議及び慶南の郡守を歴任、大正四年退官後、農銀の監査役及び取締役、商銀の監査役、京城隆興會社の專務に選ばれ、韓一銀行に入つたのは同年の十一月一日、今日の銀行及隆昌會社に重役たるのみである、又京城府協議員及商業會議所の評議員にも推されてゐる

△君も極めて堅實な人である、質素な人である、悪く言へば吝嗇家とも見られてゐる、酒は一滴も嗜まず、花柳界に足を入れる事も珍らしい、從つて醜聞もなく、品行方正である、韓相龍君の如く、大人のみを守つてゐるといふ式の方正振りではないらしい、兎に角石橋を叩いてみる守つものではないが、尙ほいくらか不安を感じつゝ渡ると云ふ風であるから、韓銀の整理も比較的好調に經過したのであらうと思ふ

△ドチラかと云へば議論の多い人、論客と云ふ側に立つ人だらう、それだけ事は分つてゐる、多少變にねじれた出方をする事もある、從つて一寸あつて見ると角立つた苛々しい所が態度にも言葉にも幾分見ゐて、第一印象は必ずしも好い方ではない、然し底から變屈な人物ではない樣で、段々親んで來ると、隨分輕い冗談を云つたりして面白味のある人だ、韓銀の頭取は朝鮮一の素封家閔泳徽子が握つてゐる、金君は閔子の淺からぬ信任を受けてゐるやうだから、兎に角尋常一樣の人ではあるまい

△韓一銀行を、安田銀行の如き堅實な信用の厚いものとなしたいと云ふ事を、君は理想としてゐる樣だ、その本店の改築案は屢々同行重役の話頭に上つたが、容易にその實行を見ない、それは行舍の如き外觀は振はずとも、安田銀行式に内部の實質を充實させたいと云ふのが金君の希望で君が急がぬからであると聞く、少しく銀行家としては論客すぎるため、その包容力の大小を疑つてゐる人もある、未だ大に將來ある人として、記者は君の此邊に思ひ致さん事を望んでおく

騷擾の原因と匡救私案(一)

閔元植(寄)

◎今次の騷擾は之を獨立運動と名くべきや否やは知らざるも、然も固より鮮人の民族的運動と稱すべきにあらず。將成穩健なる智識階級に在りては專ら實業に勉め他日の大成を期すべき學生輩に人文の發致に對してすら或程度の了解を有せざるべからざる基督教、天道教等の信徒が民族自決の新語を誤解せるより起れると覺しき妄動に對して發痕措く能はず如何にも彼等を諒解し如何に彼等の迷想を打破すべきかに就き日夜憂慮しつゝあるなり。

◎予不敏と雖も半島一千六百萬民の一員として憂を分つ可き同胞の子弟なるも一部煽動者を除けば彼等は何等の私心を有するものにあらず只浮説は浮説を生み誤解を生じたるより妄動せしのみなり。然れば予は不文を顧みず茲に今回の騷擾を誘發せる遠近の原因を述べ更に匡救に對する私案を述べ内鮮同胞に愬ふる所あらむとす。若し事に寸効あらば元植が命の如きは意とするに足らざる也

▽騷擾の三因

◎米國大統領が歐洲に於ける特異の事情に鑑み例外的處置として提唱したる民族自決主義の誤解に出發せる朝鮮青年の獨立運動なるものが果して獨立を目的としたるものなりや、或は其の手段たるものなりやは大いに研究すべき問題にして、又大いに識別し易からざる問題なり。◎何となれば獨立運動が民族自決主義に對する誤解を基礎とするものならむか、事の不可能事たるは言を俟たず、之に罪名を擬すれば一種の不可能犯にして被識限將六十名を出したる今回の騷擾は、騷擾其のものを最後の目的と見做さんは餘りに兒戲に類す故に『獨立萬歲』は騷擾の理想に名けたる標語にして騷擾其のものこそ彼等が的確に意識したる現前の目的に外ならずと見るの寧ろ妥當なるを感じ先づ其原因を詳述して次の三箇を得たり

瀋陽より啓上

六日　奧田鯨洋

四月三日の神武天皇祭な大いに盛況[illegible]……行はれ[illegible]……今や十數萬[illegible]……[illegible]

定價　一箇月金[illegible]　廣告料　五號十五字詰一行一圓五拾錢[illegible]
發行兼編輯人　眞田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話[illegible]

田川炭礦株式會社株式募集

確實無比の放資物

こんな確實有利の堀出物は二度と再び手に入らぬ

▼今後の石炭界

これからの平和時代に何が一番有利な投資物であらうかと訊ねると財界の有力者は百人が百人迄必ず口を揃へて其れは云ふ迄もなく石炭であると答へる何故之れからの時代に石炭が有望であるかと云ふと、其の理由は(一)平和の後には必らず各種の産業が勃興する而して其の原動力は石炭であるからである(二)内地丈けでも石炭は非常に不足を告げて居るのに戰爭中から西比利亞方面に石炭の需給が出來て居て石炭不足の趨勢は今後も益々甚しい(三)米利加の資本家事業家が支那や西比利亞へ澤山入り込んで各種の事業を目論見つゝある而して其の事業なるものは何れも莫大なる石炭を必要とするから内地の石炭も其方面へ吸收される趨勢にある斯くて石炭は日に月に不足を告げて來るから炭價は上る一方である故に石炭業の將來は益々有望であると云はねばならぬ

▼卓越せる田川炭礦

當會社の礦區所在地は山形縣西田川郡であるが現に新潟及酒田北海道方面に船の便があるばかりか近く開通する國鐵村上線は當礦區内若しくは當礦區に沿ふて開通するので而して其の炭質の良好なる點に就ては東京工業試驗所長工學博士高松豐吉氏の動かすべからざる分析證明あり又炭量の豐富なる礦區の如何に價値あるかに就ては理學博士巨智部忠承氏を首め前東京帝國工科大學講師理學士非殺雄氏其他專門有力家の實地踏査報告があり聊かも疑ふの餘地がない

▼此一大寶庫

然らば其のやうな確實有望な世にも稀れなる此大寶庫が何故今日迄閑却されて居たか之れが何人も直ちに疑問とする所であるが其れに就ては非常なる理由がある全体此の炭礦は土地附近の人に聞けばア、あの立派な山が果て・あるのは勿体ないと惜まれて居たものである然るに此の山は有望であつた丈け其れ丈け注目する人も多く其の結果所有權に就て爭ひが起つて遂に裁判沙汰ともなり雙方で手も出ないやうになつて居たので斯くてこその無盡の寶庫も空しく拋棄されて居たのであるが今回發起人等の仲裁に依つて目出度く圓滿なる解決を告げ茲に株式組織となつて幾年振りかに再び作業せんとする運びに立ち到つたのである

▼有力な重役連

此の炭礦の價値があつて今迄放任されて居た理由は明白になつた併し全体此の炭礦會社は何人が經營するのであるか事業は有望であるとしても經營者が不眞面目では何にもならぬ所で此の炭礦會社の重役の地位に就く可き人々は誰れかと云ふと其に何れも現財界の有力者である即ち多年富士製紙株式會社の社長として同社今日の隆盛に致らしめたる財界の重鎭村田一郎氏や、日本窒素肥料株式會社、日本セルロイド株式會社、帝國石油株式會社等の有力會社に重役として働きをなし財界の一角に異彩を放ちつゝある小西榮三郎氏及び礦山界の成功者たる前代議士笠原忠造氏等で、尙ほ大株主兼創立委員には鑛界の大立者で石川島造船所其他一流大會社二十餘に重役たる佐藤政五郎氏がある是等の人々が經營するのであるから會社の基礎は極めて堅固と云ふ可きである

株式提供要項

一資本總額　金壹百萬圓
一公募株數　五千株(殘一萬五千株は發起人賛成人にて引受濟)
一壹株の金額　金五拾圓
一申込證據金　壹株ニ付金五圓
一第一回拂込金　金拾貳圓五拾錢(證據金は充算)
一株式の種類　五株券、拾株券
一申込期限　大正八年四月二十日迄

東京市京橋區南八丁堀一丁目一番地
田川炭礦株式會社創立事務所
電話京橋[illegible]

注意　説明書定欵申込證其他必要書類御申込次第無代進呈す

寫眞講談

花は今四月號出づ

忠勇烈士　松前鐵之助　寶井馬琴
江戸俠骨　一心太助　(松林伯知)
滑稽名著　度々平　(相生)
元右武士　老の木櫻　(早川貞水)
表紙　伊勢音頭戀の寢刄　原色版　妖艷絶美
主宰　秋好善太郎君　顧問　武田鶯塘君　毎號好評
口繪
小金井蘆洲　忍術　韋駄天五郎
桃川若燕　怪談奇跡　死靈の崇
(新玉)　實録奇譚　木鼠吉五郎
哀話　幕末　吾妻川　武田鶯塘
(豐田ゆたか)　時代物語　八重櫻
(相馬正雄)　遊女の鄙路
誰にも出來る懸賞　百人と贈呈
定價一部金貳拾錢
發行所　東京淀橋　東光園

少女の友増刊

日本の十名婦

新案附錄　十名婦の色紙と色紙掛
當選十名婦
□袈功皇后□山内一豐の妻
□紫式部□楠正行の母
□清少納言□松下禪尼
□春日の局□加賀の千代
□弟橘媛□細川忠興の母
私の坐談
似ぬもの親子
實業之日本社

四月十日より五月人形陳列會

可愛い元氣の桃太郎金太郎を始め具足、太刀、鯉幟、座敷幟其他種々取揃陳列仕候

新製洋傘陳列

本年流行の新製品種々陳列仕候

京城　三越呉服店

◇四人會議組織 ＝露國問題審議中＝

ランシング(米國務卿)ピション(佛國外相)バルフォア(英國外相)ソンニノ(伊國外相)四氏はウイルソン、等の大四人會議に倣ひ小四人會議を組織し目下露國問題に就き審議中なり尚ウイルソン氏は大四人會議に對し曩日の如き協力無く他の三氏と同樣なり大四人會議も現在の危險なる形勢に處す可き何等の策無く全時局解決は一に懸りて露國にあり然れば小四人會議にして露國問題を處理せば他の問題は自ら解決す可し(巴里電報)

◇會議一向追捗せず

講和會議はウイルソン氏の巴里着以來二週間に亘るも國際聯盟條項の外殆ど何事も成就し居らず且つ先週の如きは徒らに時日を空費せしに過ぎず賠償問題、境界問題の如き決定を見るまでは尚餘程の時日を要す(巴里電報)

◇米大統領の威嚇

ウイルソン氏は米國以外の四大國代表委員が審議を進捗せしむるに非ざれば講和遲延の理由を全然公表する旨威嚇せり(巴里電報)

◇資本流出制限規則改正

本國政府は資本流出制限の爲め曩に發表せる新資本流出制限に關する民間の反對議會の論難に顧み今回其改正規則を發布せる旨森財務官より政府に來電ありたり(東京特電)

◇押收艦隊返還

本年八月チエック、スロヴァック軍應援の爲め我軍に押收せる露國艦隊は其後救援の目的達せられたると共に露人側より引渡を要望しありたるを以て我當局は熟議の結果廿八隻中萬一の場合を慮かり使用に耐ふるもの五隻の中二隻を假く日本の手に保留し他は返還すべく目下ホルワート將軍との間に右手續交渉中なりと(東京特電)

◇米對支武器賣込

米國は支那に對しアンダーソン、メーヤー會社を經て機關銃彈藥を賣込みたるが曩に米國は日本の武器賣込を攻撃せるに拘らず之を爲せるより兎角の批評あり(北京電報)

◇正式會議再開

七日南北代表列席の上談話會を開き會議停止前に起れる參戰軍、參戰借款、陝西八年公債等の問題を審議したる上八日引續き談話會を開き九日正式會議再開に決定せり(上海電報)

◇支那外蒙古出兵

北京政府は外蒙古騷擾に關し參戰辦公處にて研究の結果愈出兵に決し總司令官に徐樹錚將軍を副司令官に傅良佐中將(前湖南督軍)を任命したるが第一回に混成二個旅團を四五兩月に亘りて出發せしむ可しと(北京電報)

◇蒙匪事件交渉

蒙古ダイライ境內に突然百七十餘名の蒙匪起り巴布扎布の子、大喜附近に據居しつつ掠奪を恣にし居る外ダイライの南方にも約四百餘の蒙匪潜伏し其中に多數の日本人ありとて、奉張巡閲使より北京政府に交渉越あり北京外交部より小幡公使に交渉ありし爲め同公使より領事に對し取調方電命ありし由傳へらる(長春特電)

◇渡邊武官動靜

滿洲及び西伯利駐屯軍御慰問の爲め差遣されたる渡邊侍從武官は隨屬、吉村大尉、松本大隊長隨行の上八日午後二時來撫官民の奉迎裡に守備隊慰問 聖旨を傳達し炭坑を視察しホテルに一泊九日午前十時撫順出發の豫定なり(撫順特電)

◇淨法寺中將出發

第廿師團長淨法寺中將は八日午後四時東京驛發渡鮮の途に就けるが途中岡山に一泊同地にて師團編成事務を處理し直ちに京城直行の豫定なりと(東京特電)

◇英國大使通過

八日午前七時卅分英國大使バールトン、ウエン氏一行は長春著滿鐵ホテルに休憩の上午後一時半の東清列車にて北行の筈(長春特電)

◇滿鐵社長決定說

滿鐵社長に就きては自選他選候補者相當多く一時人選難に陷れるが最近原首相の意中にて既に右決定せりと報ぜらるるも其何人なるやは未だ不明にて之が爲め自然關東官制、關東軍司令官等の發表も

◎十四戶燒失 全南順天 [illegible]郡田面大時里農[illegible]の長男[illegible]家人の不在中火鉢の火[illegible]

東京現株特電 八日後場 [illegible] 二七[illegible] 一四四、五〇 九七、〇〇 二〇七、〇〇 九八、〇〇

◇地方稅增徵具體案成る

地方稅制限に伴なふ增徵の法案に就ては先般來內務、文部、大藏三省に於て協議中なりしが此程具體案を得たるに就き近々內務、文部、大藏三相連署にて各地方長官に訓令を發す可し(東京特電)

◇總督府官制改正公布期

朝鮮總督府八年度豫算施行に伴ひ國有林野保護事業、水源涵養、灌漑工事の調査設計、臨時調查事業調查局法施行、水產調查等に要する人員增加に關する官制改正の要あり目下法制局にて審議中に就き近く公布の運びとなる可し(東京特電)

◇安東縣に製紙會社

資本金五百萬圓の製紙會社を安東縣に創立する事となり株の全部は東京に於て綱まれたる由にて其創立準備の爲め發起人の一人長谷川太郎、武村薇氏外百四十五名なりしと又製紙、原料は鴨綠江沿岸に產する木材を利用し安東に其本社を置く事となれるが社名は尚不明なるも滿洲製紙株式會社と稱す可し(安東特電)

◎鳳凰城電氣決定

日支合辦又は米支合辦にて迂餘曲折を極めたる鳳凰城電氣事業は資本金八萬圓にて支那官民の出資に決定せり(安東特電)

◇豆粕定期開始

安東信託公司にては十日より豆粕の定期取引を開始する由なるが單位は一千枚にて證據金は一千枚に對し二百圓なり但受渡品は安東産を以てするも當分の內は開原鐵嶺產を用ふる事ある可し又仲買人は從前の仲買者を選定する筈(安東特電)

◇支那駐屯軍先發隊到着

過般來奉天巡閲使公處より軍事指揮官趙長陵氏來長し長春北門外中學校と消尹公處の二個所を候補地とし選定中なる巡閲分處に駐屯の爲め奉天より混成一箇旅團を駐屯せしむる事となり先發として廿七師の馬隊一箇營到着せり(長春特電)

◇奉天中學開校

新設奉天中學校は來る十日より開校の豫定なり(奉天特電)

◎蠶種製造額

大正七年中に於ける蠶種製造は六千二百七十七八(自家用蠶種製造者五千七百三十四人を含む)にして其製種額は春蠶種三十二萬四千三百十枚、夏蠶種二萬八千百二十五枚秋蠶種十三萬四千六百九十二枚合計四十八萬七千百卅四枚を製造せるが之れを前年に比すれば製造者數に於て一萬二千五百五十八人(六割六分七厘)を減じたるも製造額に於ては八萬七千六百十八枚(二割一分九厘)を增加せり今之れを製造の目的に依り配付用販賣用及自家用に區別し其製造狀況を示せば左の如し

▲配付用蠶種 (配付蠶種製造機關に於て製造せる內地種にして蠶種製造者に頒布して配付せしむる外其の殘餘は一般養蠶家に配付する用種として配付せるものとす)從來蠶種の供給困難なりし時代は一等の機關に於て極力之が製造を行ひ以て急速なる需要に應じ來りしも販賣用蠶種製造額著しく增加したるを以て之が製造を手控へる地方多く大正七年に於ては製造所數五十五箇所製種額春蠶種四萬一千四百十九枚夏蠶種五千百十五枚秋蠶種一萬九千二十四枚合計六萬五千五百九十八枚前年に比し製造箇所數に於て二十箇所(二割六分七厘)製種額に於て一萬四千六百四十七枚を減少せり

▲販賣用の蠶種 (販賣を目的とする蠶種製造者の製造に係り全部內地種にして一般養蠶家に販賣せらるゝものとす)從來朝鮮に於ては養蠶家各自に蠶種を製造し之を販賣の目的を以て蠶種を製造する者少かりしが先年來各地に共同蠶種製造の獎勵に努めたる結果大正七年に於ては其の製造者數四百八十八人製種額春蠶種二十七萬九千二十六枚夏蠶種二萬一千八百二十九枚秋蠶種十一萬五千六百三枚合計四十一萬四千三百五十八枚を製造し前年に比し製造者數に於て七十三人(一割八分一厘)製種額に於て十一萬四千四枚(三割八分)の增加を示せり

▲自家用蠶種 (養蠶家各自が自家の飼育用の目的を以て製造せる蠶種にして)是等の蠶種は其の品質に於て配付用並に販賣用蠶種に比し遙に遜色あるを以て逐年之が撲滅に努め同時に蠶種製造の獎勵を圖りたる結果大正七年に於ては其の製造者數五千七百六十二人夏蠶種一千百四十一枚秋蠶種六十五枚合計七千百六十八枚となり前年に比し製造者數に於て一萬二千六百三人(六割八分七厘)製造額に於て一萬一千七百三十九枚(六割二分一厘)の減少を示せり

◎減量は眞に打擊
滿鐵當局の提案を承認せん 生田總督府商工課長談

撫順炭の供給は每年四月より翌年三月迄を以て滿鐵と契約を結び來れるが本年は契約改訂期となり居れるが本年は契約改訂期に際し滿鐵は炭價引上げを聲明せるが朝鮮に對する供給の計畫未定なるより一般需要者側に危懼の念を抱く者多く成べく速かに之が決定を見ん事を希望し又先般滿鐵營業部販賣課長城崎氏來城當局と交渉する處あり而して右交渉の經過如何を聞知せんとする者多く爲めに之を總督府當局に質したるに對し生田商工課長は語りて曰く由來朝鮮に於ける石炭の消費量に就ては統計の之れを示すものなきを以て正確なる數量を知る事能はざるも朝鮮に於ける生產量及び▲輸移入超過額を以て假りに朝鮮に於ける消費總額とせば明治四十三年に於て十三萬六千噸大正三年に於て四十一萬八千噸大正七年に於て八十六萬四千噸を示し逐年著しき增加を呈しつゝあり即ち鐵道線路の延長沿岸航路の擴張精米精練其他各種の工業勃興發展に伴れ徐々石炭の需要旺盛ならんとす試みに之等工場數及び原動力の增加趨勢を示せば

明治四十四年 二百三十二場(二千五十八馬力)
大正三年 五百五十二場(二萬三千四百十八馬力)
同六年 千百五十八場(二萬五千百七十馬力)

の狀況なり一方石炭の生產及び輸移入量を見るに

年次	生產額	輸移入額
四十三年	七萬八千屯	五萬七千屯
大正三年	十八萬三千屯	二十三萬五千屯
同七年	二十萬四千屯	六十三萬屯

にして現今は主として輸移入炭に俟つの狀況となり居り而して輸移入と稱するも內地よりの移入は▲昨年度に於て二十七萬七千噸にして殘り四十九萬噸は滿洲より輸入する撫順炭なり大正七年四月より八年三月迄に至る前年の撫順炭の交渉輸入量は鐵道用に於て二十五萬噸地方炭に於て二十三萬六千噸にして略之を實行せり大體朝鮮に於ける石炭の需給狀況は右の如くなるが朝鮮は撫順炭を俟つの甚だ多く殊に工業の隆興しつゝある關係上撫順炭に據るの便多きを感じつゝあれば故を以て本年度に於ける滿洲炭の輸入計畫に就きては夙くより交渉し殊に朝鮮に於ける工業の勃興擴張に伴ない本年は地方炭三十四五萬噸(朝鮮に於ける滿鐵の社用炭は別に三十萬噸)の希望なりしも▲滿洲に於ても諸種の關係上其採掘豫期の如くならず一面又社用炭地方炭共に需要膨脹し滿洲の採炭量のみを以て之等需要地の需要に充つる時は朝鮮には一噸の供給餘力をも存せずとの事なるも滿鐵に於ても種々配供に就き按配を講じ又撫平炭其他の石炭を輸入する等辛うじて十五萬噸の餘力を見出し之を朝鮮に供給せんとし此間に於ける按排に就ては多大の苦心を要したる結果なりとの事なるも元來朝鮮の工業の現狀を見るに一に撫順炭に依頼して計畫せられつゝあれば炭量の減少は朝鮮工業界に採りての甚大の影響あり寧ろ當局に於ては增加の必要をこそ認め居れ誠に減量は迷惑至極の事と云はざる可からず素より滿鐵に於ても斯る朝鮮の事情は▲充分承知の上なれば滿鐵城崎氏をして當局と交渉を重ねしむるに至りしが當局としての要求は朝鮮に於ける地質不足額十五萬噸は內地より撫順炭と略同一能力あるものを撫順炭と同一價格にて供給せん事を協議し又炭價に就ては滿鐵は既に滿洲に於ける他の諸炭山の關係を慮り又爲替騰貴に應ずる目的を以て一噸に付五六圓方の引上を行へる狀況なれば朝鮮に於ても大連埠頭に引渡を掛加算し五圓內外の引上を行ふ計畫をなし居れり然れども內一圓五十錢內外は海上輸送に依る値上りなるを以て陸送に依り之を減ずるか又は陸送は滿洲に於ける滯貨處の爲め不可能とすれば運賃は一に滿鐵の責任なれば一圓五十錢の不當値よりは之を減額する方法を講ぜん事を要求し居けり城崎氏は▲右の旨を携へて歸滿滿鐵重役と打合す事となれるが其結果滿鐵としても多少の犧牲を拂ふ事を忍ばざる可らざるも滿鐵は單なる一營利會社に非ず大陸開發の重責を負ふ特殊會社にして又一面朝鮮の工業開發經濟施設上充分考慮すべき必要あれば滿鐵に於て右分此の間の消息を了解し當局の提案に對しては異議なく之を承認する事を疑はず

◎支那講和使態度(二)
二月八日在巴里 本社特約員 上田碩三

◎一月二十八日獨逸植民地處分に關する五國代表の秘密會議に際し支那代表は自ら列席して述ぶる所あらむ事を請願せり、何等關係なき支那の此の請願に對し、他の四列强は兎に角、日本は寬大にも直ちに其の請願を容れたり、好機を得たる王及び顧の兩氏は得意の辯舌を以て大に辯じ立てたり、蓋し會議の終了するや支那人某の手より該會議に於ける王、顧兩氏の爲せる演說の要旨は某國の某々新聞記者に傳達せられたり、翌廿九日の英字新聞巴里版には大的活字を以て支那代表の意見は滿載せられ且つ絕對秘密たるべき該會議の模樣さへ、鄙猥相半ばする程度に於て報道せられたり

◎曰く支那は獨逸より直接膠州灣を得るの權利あり、日本は一九一五年五月の日支盟誓を楯にするもそは支那の調印を餘儀なくせしめたるものなりと更に之に關聯せる支那のプロパガンダ的文字は其後幾度か同一新聞に掲載せられたり或は膠州灣に關する手前味噌の歷史を列べ或は支那の膠州灣に於けるは恰も佛國のアルサス、ローレン又は丁國のシュレスヴィヒ、ホルスタインに於けるが如し等、寧ろ滑稽に近き文字を列べて恰も日本が無理無法の處置を支那に加へんとするが如き誣妄を天下に强ひんとするに似たりき

◎吾人は固より斯の如き誣妄が、野卑なる諸列强代表の一顧にも値せざるを信じて疑はずと雖、常に警鐘を口にする支那と、誤報にせよ、斯の如き關係のあるが如く傳へらるゝを見る時、吾人は到底不快を感ぜざるを得ざると共に苟くも新聞紙が斯の如き誣妄を堂々と揭げて怪しまざるを憾し同時に又支那代表の爲めに之を悲しまざるを得ざりき、蓋し秘密會議に於ける支那代表の主張の內容が直に新聞紙に依りて報道せられ更に會議の內容をも暴露せらるゝが如きは支那代表が信を列强に失ふの所以たる外、殆んど何物をも得る能はざればなり

◎相互の不便を除かん
浦鹽弘報局設置の趣旨 弘報局主幹 頭本元貞氏談

我が軍者にては今回浦鹽に弘報局なる一局を設くることとなり余は其の主幹として赴任することとなりたるを以て三日東京出發、門司より乘船の筈なりしが便船の都合にて來る十二日に非ざれば解纜する能はざるより其の閑利用旁來鮮入城せり、我が日本に在りては從來弘報局の設置なく此の浦鹽に於ける弘報局の設置を以て嚆矢とすべく西伯利に於ける過激派討伐開始の爲め聯合軍の▲共同出兵となりたる我が軍司令部其他には英米佛其他の外國人に接觸したる人士の從軍者少かりしを以て兎角圓滑を缺くの事多く國交上遺憾の點尠かりしを以て今回特に弘報局を置き西伯利に關する外國新聞雜誌の飜譯並に地方在住諸外國人と我司令部等との連絡を圖り是等の不利不便を一掃することとなりたるなり西伯利に於ける英米人の行動に就きては從來▲我國に誤傳されたる事多く殊に米國人は彼の地に在りて專ら利權獲得にのみ力め居れるも是甚だしき誤傳にて彼等には絕對に此の事なし米國政府は出兵するに當りて其の任命に就ては特に愼重なる態度を以て精査し久しく我國に居住せし事ある者又は我が國情に通ぜる者を簡派せし位なり

◎學議組合豫算

大正八年度京城學校組合豫算は既に編成を了し當局に對し之が認可申請中の所、愈今明日中に認可を得る運びとなりたるを以て多分來る十一日頃豫算に關し組合會議を開くべしと

◎商議役員會

京城商業會議所にては十日午後二時より同所に於て事業計畫案に關し役員會を開催すべしと

◎小原長官歸任

小原農商工部長官は藥山圖を隨へ東上經濟調査會其他と事務打合せ中の處八日午後七時五十分南大門驛着歸城せり

◎高嶋中將發期

今般羅南に移動す可き第十九師團長高島中將は來る十二日夜龍山發同地に向ふ可しと

◎新參謀長等挨拶

新任第二十師團參謀長陸軍步兵大佐西田友幸、同副官少佐伊木壯五郎、騎兵大尉宮川久衞の三氏は八日各官公衙を歷訪し新任挨拶を爲したるが本社にも來訪ありたり

人事消息

▲久保京管局長 東上中の處八日東京發十日夜南大門驛着任す可し
▲頭本元貞氏(浦鹽日本弘報局主幹)八日夜入京朝鮮ホテル投宿同十二日門司發浦汐へ航の筈
▲石渡信太郎氏(明治鑛業株式會社技師)八日夜入城朝鮮ホテル投宿
▲伊藤仁吉氏(文部省督學官)八日夜入城巴城館
▲小島弘氏(高田商會社員)同上
▲藤義一氏(同上)同上
▲岩崎節郎氏(同上)同上
▲水谷千萬吉少將(平壤鑛業所長)同尾へ
▲岡部房次郎氏(淺野貿易重役)同上
▲荒健之助氏(滿洲鴨緑銀行店長)同不知火へ
▲武井宗十郎氏(鐵業家)同京城ホテルへ

鳥瞰錄

滿鐵社長に內定したとかせぬとか噂されて居る山木條太郎氏は朝鮮に緣故の深い人で▲手代出口雄三氏名義で方々に鑛山を經營して居る▲元は何でも三井に月給十五錢の給仕で入社したのを益田孝男が引揚て三十幾歲かで重役に据ゑた程の人物だそうな▲李完用伯は又復警告書を發表した▲李伯前回の警告書發表以來同邸へはやれ賣國奴だの李逆賊だのと頻に脅迫狀が舞ひ込むが▲死生を一笑に附して顧みぬ老伯は平氣の平左で都かに聖賢の書に親むで居るさうな▲支那に於ける英字新聞は今回の騷擾に就いて惡樣に捏造記事を掲載してをるが▲某支那通の談話によると彼等は一部の支那人と團結ける一の團體が在つて東洋に何か事件ある每に特に事實を捏造した記事を掲載する事になつてをるのだ▲之には素より大きな後押があつて少からぬ資金を投下し徒々日支の國交を阻害せしめつゝあるのだ相だ▲實以て怪しからぬ奴等だ

東京株式 八日後場 東京 新 七七、〇〇 / 鐘紡 新 同 同 二七一、七〇 二六一、一〇 / 東拓 第二新 七六、六〇

大阪期米特電 八日 前場 寄付 三三、二四 [illegible] 後場 三三、[illegible]

大阪株式特電 八日 前場 [illegible] 一九〇、〇〇 後場 [illegible]

神戶期米特電 八日 前場 寄付 高値 安値 止め [illegible] 後場 三三、[illegible]

◎◎セメント新荷著 ◎朴材新荷着◎
京城岡崎町電車停留所前 山本村太郎材木店 電話參〇四七番

財團法人 電機學校 生徒募集
(豫科)本科一期二期 (夜間)豫科一期選科高等科電氣化學科 校外生(特殊の通信教授) 講習生(普通の通信教授) 隨時入學許す
授業開始四月二十日 規則書送料四錢 東京市神田區錦町三丁目 電話神田[illegible]

大隈侯主宰 大觀 陽春倍大號
◆選擧制度の將來と比例代表 一木博士
◇憲法と政治家 仁保博士
◇學者の軍政論 佐藤中將
◇哲人の主義 田中王堂
◆大隈侯座談(十數項)
◇大英國の二星 三島川
◇生存權と米價 大吉田
◇アフリカは第二の月 八田博士
◇議會の成績(政界裏)(のうら)
◇民本主義教育 大島正德
◇大道教侍天教 菊地謙讓
◇渡佛第一信 五來素川
◇獨逸の講和使節(人物評)
◇女理さとめ言 ◇學校見聞錄
◇刻下の勞働問題 ◇國際勞働と日本 尾崎行雄 ◇勞働問題の將來 安部教授 ◇國際勞働と移民 戶田博士 ◇日本の勞働問題 神戶博士 ◇我が移民問題の解決 河津博士
◇エルサィユ會議に望む(再び) 大隈侯爵
◇監獄部屋(一幕) ◇煙草園の戀(一幕) ◇常陸丸遭難記 ◇仁川丸遭難日記(捕虜生活十六ヶ月)米山
◇酒飲かい好い飲ぬかい好い ◇佐藤中將 ◇片山博士 ◇松井介石 ◇中村博士 ◇大町桂月 ◇山內ドクトル ◇鷗溪博士 ◇北原白秋 ◇二木博士 ◇橋井博士 ◇芳賀博士
◇文藝評論 片上伸 ◇林に添た道(創作) ◇美人國旅(創作) ◇放火犯人(創作) ◇鳥籠(新進作家の出世作を見よ) ◇河馬(創作) 長田秀雄 ◇石室(氏一流の美き翻譯振を見よ) ◇雀の生活(散文詩) 北原白秋 ◇曠野の月(滿蒙紀行) 大町桂月 ◇東西錢湯史 山口孤劍
價七拾錢 郵稅三錢 東京牛込市谷町九三 大觀社

法制研究會編 文官普通 判任見習 雇員巡查 試驗問題集 發行所 京城本町 ウツボヤ書店
菊半形紙數二百二十頁 定價金五十錢 送料四錢
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年度以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試希望者をして試驗の狀況及程度を知らしめ必勝の奪稀を與へんと欲して編纂せるものなり應試者諸氏の此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所勘少にあらざるべしと信ず
賣捌元 京城大平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

本場大島紬月賦販賣
鹿兒島縣大島郡名瀨港 本場大島紬織元 カ 勝久商店
但し京龍仁御在住の御方に限る 電話又は葉書にて御用命被下候へば店員參上御相談可申上候
京城本町一ノ五〇黑川肉店南へ入る カ 勝久支店 電話一九〇一番

購買 詳細ハ四月九日以降朝鮮官報ニアリ 陸軍倉庫
競爭入札 購買 一、複流式二重自働中繼盤外五廉 詳細四月九日ノ本府官報ニアリ 朝鮮總督府遞信局

盧簾 芦箔 製造販賣 慶尚南道東萊郡下端 高神商會 (夏簾ハ御好ミニ應ズ)

最新刊
路傍の花 德田秋聲著 定價一圓八十錢 送料八錢
癡人の愛 久米正雄 一、四〇 八
野村著 黑い流 定價一圓五十錢 送料八錢
子供の感情教育 一、二〇 六
國語讀本の要 一、〇〇 六
總持應用商事會計 中西新兵 一、八〇 八
白蓮女史 幻の華 定價一圓五十錢 送料八錢
現用英語語口文法 一、五〇 八
ナイチンゲール物語 一、〇〇 六
朝鮮職員錄 近日出來 定價一圓二十錢 送料十二錢 御申込順により出來次第
京城本町一丁目 大阪屋號 振替京城二五七三番

京日案內
市內中途放棄中止の節は料金不返戻 六回以上の御申込は特に割引の事 御掲付は退得附にあらざれば御斷せず 普通七號一回前金

代診看護婦採用 志望者至急左記へ申込マレタシ 京城日報仁川支局

古物商 黃金町三丁目 電話一八六二 明根古物店

電話至急譲渡たし

◎有望なる木工業譲渡し度し 詳細は面談の上御相談可申候 (姓名在社)

店員三名入用 多少株式業に經驗を有し市內に保證人ある方午前中履歷書持參來談 京城永樂町二丁目 電話二四五九 丸一式店

集金人 至急採用 確實保證人を要す 午前八時至九時午後五時至六時來談 太平通二丁目 シンガーミシン會社

恩給年金 低利 京城吉野町 電話一五一六番 山口屋

看護婦見習生入用 希望者來談又ハ履歷書送附アレ 仁川府宮町 松本病院

計算係外三名入用 希望者は履歷書携帶來談但市內確實なる保證人要す 永樂町二丁目 電話一一〇番 播本商店

店員入用 市內に確實の保證を要す 吉野町二丁目 電話二八二 友田運送店

○非を覺れる鮮民

教會に到り牧師を逐ふ＝舊韓國旗を牧師より奪ひて燒く＝村民と憲兵の厚き情誼

喜ぶ可き傾向生じ來る

▼聖書を牧師に

投付けて其の不法を詰る　眼覺めたる鐵山の村民

平安北道鐵山にては最近鮮人牧師の煽動に依り多數の群衆暴行を爲せし爲め多少の傷者を出だしたるが憲兵警官等の說諭に應じ全く獨立運動の理由なきを悟りたる結果彼等は皆聖書を手にし夜陰に乘じて教會を襲ひたり而して彼等は一齊に之を牧師に投付けて其非を詰責せしかば牧師は僅に身を以て逃走したるが此際に散亂せる聖書は六百餘冊にも達し居りしと

▼舊韓國旗を燒く

牧師の煽動を排して

平安北道の東龍館にては鮮人牧師が舊韓國旗三百餘本を製造し煽動の計畫中なりしに地方良民は其不善を悔悟すると共に却つて反對の運動を起し即ち事件發生の前夜牧師に押寄せ國旗を奪取して之を燒棄せる者の如く牧師は形勢の不利を察して何時しか逐電し行方を晦ましたりと言ふ

▼百餘名の村民

＝一齊に其非を悟る
憲兵と部落民との情誼

東小門外の一部落にては百餘名の鮮人一兩日前駐在所に來り此程萬歲を唱へざれば村落を燒拂ふと脅喝する者あり私共にも一萬歲を唱ふる事を許され度しと申請するより所長は平素愛撫する彼等に對し涙を浮かめて委く其理由なきを懇諭したる後告けて曰く若し彼等にして夫程希望すれば萬歲を唱へよ但し代りに兵は此地を去りて官を辭すべしと之を聞きたる一同は否とよ貴官に此處を去られては我々の安全明し離ければ萬歲は止むべし何卒我々の不心得は許し給へと陳謝して引揚げたりと

▼將來を約して

＝警務官憲に陳謝す

南鮮地方より京城に護送され憲兵分隊長の懇篤なる說諭を受け悔悟せる群衆中には深く前非を悔悟して恐る者少からず、鐘路地方の駐在所に出頭し或者の脅迫に依り不心得を爲せしも今後は如何なる事あれども決く運動せざるべしと何れも謝罪したる由尚京城附近の鮮民にして悔悟狀を作製し自署の上警務總監部に將來再び妄動せざるべきを申告する者頗る多きなりと

□皇太子殿下成年式奉祝

官報文部省訓令第二號を以て左の如く訓令ありたり(東京特電)

訓令

本年四月廿九日皇太子殿下成年式を擧行せらるゝに就き當日各學校に於ては職員生徒兒童を參集せしめ左の次第に準じ奉祝式を擧行す可し、但し御影を奉戴せざる學校に於ては左記二號の式を缺き又若くは唱歌を課せざる學校に於ては同第五號の式を缺く事を得

儀式次第

第一、職員生徒兒童君が代合唱
第二、職員生徒兒童　天皇陛下、皇后陛下、皇太子殿下の御影に對し奉り最敬禮を行ふ
第三、學校長は教育に關する勅語を奉讀す
第四、學校長は成年式に關する訓話を行ふ
第五、職員生徒兒童奉祝歌を合唱す

まゝごと＝休みの日＝

○醫官邸を襲へる

＝曲者龍山にて捕はる

龍山憲兵分隊にては元町一丁目板谷質店に時折入質に來る怪しき一鮮人を不審と睨み探査の結果此奴は京城市內を荒し廻りたる曲者と判明したるより去る廿九日夜同店に入質に來るのを有無を云はせず取押へんとせるに抵抗したるより應援を得て大格鬪の末漸く逮捕し取調べたるに此奴は全羅南道□□法聖浦里番地不詳無職鄭觀德(二三)にて以前本町四丁目齋藤屋東京店に丁稚を勤めし事あり內地人家屋の樣子を知れるを幸ひ本年二月末より京城初音町總督府醫院醫官高木逸三氏外九軒に忍び入り金品六百餘圓を窃取し贓品は全部各所の質屋に入質し遊興の資とせるを自白したるが猶餘罪取調べ中なり

○汚ない詐欺

＝が發覺して取調中

大邱大鳳町生れの孫凞龍は大正七年四月より本年四月迄步兵第八十聯隊の人糞尿の拂下げを受け其糞尿に水其他の物を混入し之を京城郊外一圓の農民に對して賣捌たるが近來に至り麥等の例年に比し不出來なるより研究の結果水を混入せる事を發見し大郎を警察署へ告訴され目下取調中(六郎)

○天然痘

又も釜山に猖獗

慶南の如く釜山の天然痘は二月廿七日初發以來一時患者續發の傾向ありしより當局に於ては之が豫防として市民全部に渉り無料種痘を施行し豫防消滅に努力なしたる結果一時下火の兆ありたるも最近に至り猖獗となる模樣にて去月下旬以來新患者六名を診定されたり而して同日迄の統計は三十四人にして內死亡せし者十一名なりと(釜山)

○眞晝間往來で自殺を企つ

跛足の鮮人

△往來で咽喉笛を切つて　七日午後一時廿分頃龍山元町一ノ一〇八番地安富多三郎方前の往來で自殺した鮮人があつた肥後守と云ふ小刀を右手に握つて路上に仰向けに倒れ咽喉からは紅の血潮が迸つて本人は虫の息で唸つてゐた日中の事なので忽ち黑山の樣に人だかりがしたが間もなく係官出張し通り掛つた某聯隊軍醫官の應急手當を受けたが間もなく醫師が來て夫々應急手當を施し、京城セブランス病院に入院せしめた、自殺を企てた鮮人は吳興三(四六)と云ふ跛足で同番地に住む吳興澤(三五)の兄である

△自殺の原因　は當日午前弟の興澤と云ひ爭つたが無職で弟の厄介になつてゐるものだから弟から云ひ負かされてしまつたので大いに憤慨し附近の酒店で泥醉し弟の家の門前に自分が使つてゐた松葉杖を立てかけ其處で咽喉を切つたらしい、詳細な原因は目下取調べ中であるとか

○慶北の山火事

二百五十町步燒失

去月二十七日午前六時慶北盈德郡達山面國有林大洞作山の一部より火災起りたるを以て同地駐在の諸巡查は洞民を指揮し極力消防に努めたるも二百五十町步を燒失し漸く翌二十八日午前十一時消火するを得たり幸に人畜の死傷なく損害額約五百五十圓なりと(大邱)

○地上に唾する者

＝ば五十留の罰金か三日の拘留
酒を飲むと銃殺されるエ市

沿海州西伯利地方を旅行して歸來せる某氏の談によればエカテリンブルグでは例のガイダ將軍が露軍司令官として來任後全軍の士氣振作の爲め一切酒を禁じ違反者は將校五年の懲役兵卒は

▽直ちに銃殺　するとの命令を發し既に二人の兵卒が銃殺された不潔で有名な浦鹽では大いに衛生上の設備を完全にすることとし過日來市街の大掃除を行つたが內外人共街路に唾きする者は五十留の罰金若くは三日間の拘留に處する掟としたので唾をよく吐く

▽日本人の如　きは上陸早々大概五十留のお灸を据ゑられてゐるハバロフスクの魚市場では先般鮭や鱒の大漁があつたので一萬二千尾も罐詰にされたが一檢查官が魚の腹を割いて泥のあるのを發見し食用に適せずとして

▽悉く河に投　げ棄てゝ了つた、オムスク政府では資金缺乏の爲新兵隊に著せるべき軍服なく爲に內務大臣は布令を發して年六百留の收入ある者には一著夫以上の者には二著三著と相當な寄附を強制してゐる

○食客の盜み

熊本縣飽託郡白杵村田崎生れ清水勝人(三七)は昨年十一月頃より平壤旭町新遊廓藤田正一と僞名して屢々販町東洋樓に登樓し同家抱へ娼妓千鳥を擧げて遊興する擧動何となく不審なるより平壤署刑事は嚴重內偵中のところ同人が娼妓千鳥に向ひ自分は嘗て高市山にて入浴せし際現金百四十圓及び萬年筆一本を盜まれしことあり其後萬年筆は戻りたるも現金は戻らずと語りたるを聞知し盜難に罹りながら何等の屆出もなさざるは訝しと本人につき訊問したるところ自分は田村旅館の父は曾て前大同館支店に宿泊せる仲買商なりと稱したり依て同旅館につき取調べたるも全く其形跡なきより愈曲者と注目し其後行方內偵中去る二十一日東洋樓に登樓せし事を突止め早速取押へ嚴重取調べたるところ遂に包み切れず昨年四月中より大同郡柿乙面□國弘方に寄食し同家々人の隙を窺ひ三回に渉りて金三百七十圓餘を窃取し其金を以て前記の如く遊興し居たることを自白したるが尚餘罪ある見込にて取調中(平壤)

○大豆大の降雹

雷に伴ひて

七日午前七時より平壤に於ては雷雨ありたる後大豆大の降雹あり同八時歇みたるも午後二時頃まで降雨ありたり(平壤)

○思つた程下げ無い

此頃の織物類　原因は種々ある

休戰後銘仙類がぐんと安くなつたので此調子なら來る夏物もウンと安くならうと今から大當にして居る向きも少くないが

▲先頃來　の仕込みの模樣から見てさう世間で期待して居る程安値は見せまいと專門家は語る『何しろ原料が安くならない、殊に綿絲の如きは却て戰時中より高値を示して居るといふ現況であるから銘仙類のやうな大安値は難しからうと思ふ、それに加工に要する工賃も戰時中の高價を維持して居るし染料其他も餘り安値を示して居ないから夏物の

▲大安値　は期待出來ないと見るのが至當である然し戰時中の最高値から見れば一般に一割五分位の安値は出やうと考へられない事はないが一體に平和來の聲に對して非常なる戒を爲し生產力を減らし傾きがあつたので今日は頗る

▲順調を　保持する事が出來ていゐる、孰れにするも夏物の餘り下らないのは一般需要者に對して氣の毒の感がすると同時に生產者側に對しては多大の讚辭を呈せざるを得ない(東京)

○安東の初雷

安東縣地方は七日午前三時頃より沛然たる降雨に伴ない雷鳴ありたるが本年に入りて初ての雷鳴なり(安東縣)

○釋尊降誕會

龍山榮町の東本願寺龍光寺では昨七日午後二時より釋尊降誕會を擧行し引續いて接待があり法要の後龍山各宗僧侶の法話があつた、午後八時からは餘興として龍山人狗連の淨瑠璃等が奉納された、お開帳も賑はつた、善男善女引きも切らず法話に參詣する者が中堂に溢れて居たらしい、境內には露店も出て、天老人達が中々賑はつた。龍山寺では來る四月廿一日に入つては益々參詣者が殖ゆる模樣である。

□噂の噂

先日第二回製鐵所の展覽會に出品の高木背水畫伯の作に就て「先生の傑作だ……」と云ふ技師から當の大島と云ふ技師からのところへ噂があつた、背水畫伯も是には喫驚したのけ、「ふさぎ」「出した」のは其の家の秘書官府院に頭げ、居る一幅の構圖である、是は背水畫伯が中々の好きで英國のサンザーで內の景色を描いたものであるから、一度は東京の展覽會に出した位自信のある作のみならずサンザーの花は平和な誇りの時のである、此土地では背水畫伯は非常な好きであるとなるから、此作だけは思ひ出の種にもと離さずにゐたものを、大島技師が取つて置いたのであるが、折角大島技師が傑作なさいと云ふ事にした、▲で早速背水畫伯に斯う云ふ話を以て通じると、博士は非常に苦しい思ひをしたが、結局大島技師から借りて居たが、未だ手放さぬ

▲畫伯は非常に驚いて何うしても手放さぬと云つて何うしても貰ひ返さうとした、背水畫伯が古城の中で描いた『サンザー』の作は矢張り當分博士のところへ置く事にした相な

温泉の里へ　(5)

十八番の出し競べ
珍なる哉其夜の夢
(平壤生記、さんみ畫)

てれ探な春

四月二日午後七時、大廣間なる宴會の席に就く。先づ主人側を代表して安藤運輸課長の鄭重なる挨拶あり、エフ(京日)氏記者側を代表して『御厚意に酬ゆべく各自十八番の秘藝を御覽に供すべし』と答へて滿座の喝采を博す。酒漸く廻れば驛長銀扇を翳して賑やかに舞ふ。次いで

一人一藝　最初のプログラムを承はりしは一ノ瀨南大門驛長なり。驛長悠然と座を起つて正座に直る、其態度既に千鈞の重味あり。藝題は義太夫『壺坂』の一節なり。語られますは何とか云ふ藝妓、三味線が即ち驛長の秘藝なり『イヨー御兩人!!!』と先づ

大向より　喚鳴る者あり。藝は『三つ違ひの兄さんと……』より始まり滿座杯を停めて謹聽す而して驛長の撥の冴り滿座の感嘆を買ひ『あれまで仕上げるには隨分金が掛つたらう……』なぞと詐を入るる者あり。一體藝能は大才なり。

金で値踏　みを爲すは些と失禮ならずやと手前贔屓に驛長に同情す。プログラム中他に特記すべき者二三あり。一はエム(笑子)氏の『金色夜叉』荒尾讓介の科白なり。『貫一君樣は……』と云つた調子で親友貫一に悔悟を迫り、滔々數千言の忠告を試むるところ恰も

故高田實　が扮裝せる荒尾讓介の如し。此幕約三十分を費し、次に現れたるはアイ(公論)氏なり。今度は舊劇俳優松本幸四郎の聲色を眞似て御機嫌を伺ふべしと前提して正座に直る。但しアイ氏の面貌幸四郎に似たる點あり大いに滿座の注意を惹く。藝題は

『先代萩』の　男之助なり。男之助鼠を踏んまへ『アーラア……』と鐵扇を張り上げ、大見得を切りて伸び上り、此る遊は幸四郎酩酊なり。其他珍藝百出して應接に遑あらずと云ふ有樣。トム君と手前と乘り出したる時は既に

陣形崩れ　て何等の反響なくトム君の落語は調子が低過ぎ手前浪花節は調子が高過ぎ御世辭の拍手を送る者さへなし。トム君と共に旗を卷いて宴席を退却し一風呂浴びて床に入る。無駄話を交しつゝ微睡めば。忽ち手前の布團に一人の西洋人潛り込み『誰だ』と一喝すれば忽ち

支那人と　變じ『何だ支那人か』と冷嘲すれば『失禮』と捨科白を殘して姿を消す。あまりの不思議さにボッカリ眼を醒ませばトム君も眼を開いて『暗苦しい』と云ひ布團の端には例の白猫尻尾を上げて『誰猫は居ねがや……』と云つた風に案外に退却せんとするところなり。

複方タルリソン

痛を止め　炎を消し　膿を去り　尿を通ず　リン病アラヒ藥

本劑は如何なる重き淋病と雖も之を用ふれば直に其効現はれ又患者適宜に溶解し用ふるものなれば腐敗の虞なく且携帶に便なり

價　二十五錢　五十錢　七十五錢　壹圓

本舖　大阪市東區元與町　高橋盛大堂藥局
發賣　同心齋橋筋博勞町　高橋盛大堂分店
同　東京市神田柳町　高橋盛大堂出張所
●到る處の藥店にて販賣す

辱知諸賢御中
拜啓時下春暖の候各位益々御清穆の段奉賀候小生從來共保生命京城出張所長在職中は多大なる御厚誼を辱ふし奉深謝候今回突然本社へ轉勤を命ぜられ今夕(九日)夜行にて出發の豫定に候永年の御愛顧に對し出發前拜趨御禮申述る筈の處急遽出發致す事に相成候間不惡御諒察被下度右不取敢以紙上御挨拶申上候　敬具
共保生命保險會社　橋本儉次

營業科目　糸ひも類　刺繡用具及材料　裁縫用具及材料　造花用具及材料　袋物用具及材料　摘細工用具及材料　編物用具及材料　美術竹細工
卸小賣商　京城本町二丁目明治町入　尾琴屋　電話一三五九番

遠乘各位向きの堅牢實用自轉車
信用最も厚きダイガクタイヤ
堅牢と實用とを兼ねたるコーキタイヤ
舶來中古自轉車澤山在荷
京城本町二丁目七十三(電話三〇六一番)
足立自轉車商店

お待ち兼ねの　漢陽高麗燒　倉さらへ會
◎工場を開放し一般觀覽に供す
◎珍品摘破格大提供
日時　來る十三日(日曜日)雨天順延
京城本町二丁目
場所　奬忠壇海市工場
海市商會　電話二五〇番　振替京城四八番

眼科專門　京城明治町二丁目五十六番地(宇治原茶舖横入ル)　入院隨意
荻原眼科醫院　(電話一三六七番)　荻原長誠

たんせき　ぜんそく　に惱む人は

登錄商標　OPHON
專門の新劑　オホン
たんせき、ぜんそく直ぐと切れ面白い程効めあり◎服量一回僅に六粒を即刻服藥なさいませ
◎併し一回、一回メリメリと効く是れ專門の新藥「オホン」の特徴なり◎小兒用オホンあり
本舖　名古屋京町　藥種貿易商　荒川長太郎
全國各藥店にあり

皮黴科　肛門科
京城明治町二丁目元既町　電話一七一三番
入院隨時診察夜九時マデ
皮膚病　黴毒　痔疾　脫肛　痔瘻　肛門病
佐藤病院

京城電氣　五〇、〇〇
同新　一七、〇〇
朝鮮瓦斯　一八、五〇
横濱取引　九五、五〇
同新　一〇八、〇〇
寶田石油　四八、〇〇

大阪三品
八日　前場　後場
綿糸先限　三一九、〇〇　三一九、〇〇

高値　三〇、二九
安値　二九、九〇
止め　三〇、一九

八日前場(晴)外米先物
高値　三一、一〇
安値　三一、八九
止め　三一、一〇

日と子 (百五十四)

北島春石作 森田久畫

男同士(二)

突如として怖ろしい嵐は吹き起つた。その不安と動搖のうちに明暮した一週間あまりの後、芝榮町なる神崎邸の玄關に立つた一紳士がある。

取次に出た小間使に一葉の名刺を渡すと、直に奥へ引取つたまゝ、暫くは姿を見せなかつたが、やがて、こちらへと通されたのは、玄關の横手に當る應接間。

『突然お伺ひいたして何ですが、今日は無論御主人は御在宅でせうな。』と、未だ席をさだむる隙もなく彼の紳士は小間使に向つて問ひかけた。

『はい、あの。』と、おいくは答へを濁らせて

『何うぞ、こちらで暫くお待ちを願ひます。』

小間使のうしろ姿を見送つた後までも、彼の紳士は猶椅子を引寄せんとはせず、深い思案に囚はれた態で、胸高に腕組をしたまゝ卓を繞つて彼方此方と歩き廻つてゐた。

こゝからは幾間も離れぬ出居の話室に呼鈴の音が鳴響いて、およそ五分間も通話がつゞけられたが、やがて以前のおいくが引返し、

『唯今御主人のお出まし先へお取合せいたしましたところ、會社の方へお出向を願ふのも失禮ゆゑ、唯今すぐに歸宅いたすからと……斯樣な御返事でございましたから少々お待ち願ひたいと存じます。』

『は、それはとんだお手數を。』と、紳士は始めて椅子に著いた『御面會さへ叶ふならば、御都合のよろしきまでお待ち申すことに……何しろ、些と遠方からまゐつたものですから。』

『では、少々の間お待ちを。』

それから紅茶や手焙などが運び出され、おいくは二度も三度も出入をしたが、彼の紳士はいつも腕組せるのみで、そなたを振向いて見んともしなかつた。さうした尋常ならぬ樣子を見れば、よく〳〵思慮にあまる事件があるのであらう。

恁うして約一時間も待たされたところへ、俄に門前ちかく自動車の停まる音がして、鳥渡奥の間を覗いたかと思ふ間もなく、神崎昇一郎が靜かに應接室へ入り來つた。自分では飽までも冷靜な態度を持せるつもりだが、朝鮮から歸京以來日夜深い煩悶の渦中に投ぜられてゐるため、その顏色も良くない筈なのが、今日に限つて紅潮を呈してゐるのを見ても、穩かならぬ心中を名殘なく物語つてゐる。

扉の開いた音を耳にするまでもなく、自動車で乘著けたのが誰ぞと悟り得た紳士は、逸早くも椅子を離れて、衝とそなたへ進み寄つて、

『神崎さん、突然お訪ね申して失禮を。』と如何にも落著のある聲をかける。

さう先鞭をつけられた昇一郎は、いさゝか機先を制せられた形で、

『いや、僕こそは。』と勢ひ受け太刀とならざるを得なかつた。が、直に冷やかな視線を投げて、挨拶代りに一矢を酬いた。

『朝鮮では意外な御款待に預かりまして、實際御禮の申上げやうもなかつたです。』

これだけ言へば、この來客が岸上雜巳とは説明するまでもない。

『いや、何ういたしまして。』と、雜巳の片頰にも微笑が上つた『その節は僕こそ飛んだ失禮をいたしたです。』

『さあ、何うぞお樂に。』と、客に薦めれば主人も椅子に著く。

そして、お互に敵の虚を窺ふやう、暫時は相對したまゝ身動きもせずにゐたが、やがて、悸立つ心を現にして呼鈴を鳴らす。

古本 賣買 御報參上 京城明治町通り 野村書店 電話三〇五〇

『お呼びでございますか。』と、何氣なく入つて來たおいくを見ると昇一郎は理由もなしに癇癪を爆發させて、

『馬鹿め!、早く紅茶を入替て來い。』

『はい、唯今。』

驚いて小間使が引退つたあと、再び室内は白晝と思はれぬ怖ろしい沈默に領せられた。

◎米國綿業活躍 世界紡績業現況

▲綿業は中心[illegible]

英國ランカシャイナー紡績業者も亦米國綿製品の優秀なるを見て駭かず[illegible]恐怖の念を抱き居れりと傳ふ[illegible]るに非ざるも遂は更に一層年時[illegible]代に於て世界的商品生產として需要の意義を有するものとして即ち[illegible]る可し左に米國紡績業毛織業者によりて組織されたる輸出聯合會理事ローレンス氏の所見を摘譯し米[illegible]知らず誰だ吾人の知れる所は公正なる價格を以て米國自らの需要を[illegible]暗に正義を說き同時に其輸出能力を[illegible]かし更に氏は各國紡織工業の[illegible]を述べて曰く『過去數年間印[illegible]綿九百萬錘紡績三百五十萬錘を有したるの此が復舊容易ならず(獨逸に於ける紡機は大略完全に保存[illegible]綿業は同國產業の[illegible]と共に其政[illegible]困難たるべく而して印度支那及びブラジル等は大なる新工業國な[illegible]輸出したる[illegible]中棉花消費力は著しく增加したり這は新經濟[illegible]の增加によるよりも[illegible]要の前[illegible]に[illegible]を充當し得べし而して世界棉紡績錘總數は一億四千九百[illegible]にして其內三千萬錘は約二割一分弱は[illegible]消費するの狀況なり且大戰が[illegible]場に與へたる衝動は尚去らず[illegible]需要に適應するの[illegible]

◎小學兒童の服裝定る

御茶の水の附屬 此新學期から

小學兒童着用の服裝問題については是れまで兎角の議論もありますが、お茶の水の東京女子高等師範學校は同校附屬の小學兒童に此の新學期が

△入學する ものの父兄に向つて通學の際は必ず左記一定の服裝を着用するやうにと通達されました夫れは普通の縞袴の裾に釦をつけ猿股やうの下穿を下から釦につけ襦袢の襟にはフック釦をつけて胸の開かぬやうにし腰は一切用ひぬやう何でも衛生と運動とに重きを置いて總ての方面に熟慮を遂げて考案されたものださうです着物は矢張り筒袖で

△袴は極く 短く、靴の踵から其の裾までの距離を必ず六寸と定め、從來の帶を廢して一廻りだけの兵兒帶と定めたのですが右につき係員は『今新に之が考案されたと云ふのではなく、從來も屢此の服裝にするやうにと勸誘しましたが、夫が如何も行はれなかつたのを今度必ず實行するやうにと父兄に達したので、現在學生に對しても

△此の服裝 勵むることゝなつて居ます』と語られました因に府立第一高等女學校は可なり以前から袴の裾に細い紐をつけ夫れを絞るとクッケのやうになる體操用の便利なものを使用してゐます(東京)

◎天幕の小舍

子供の遊場として庭園に手輕く造る

米國にては庭園に手輕な小舍を建てる事が流行します。此小舍の廣さは四疊半か六疊間位で、屋根には天幕を張り窓には金網を張りて蚊や昆蟲の浸入を防ぎます。床は草原や土間のまゝでは濕つて子供が遊ぶに困りますから、矢張板を張ります。室の内には小さな洋卓を据ゑて面白い雜誌などを並べて置き、夕方には子供家族打揃つて談をしたり御茶を飲んだりする外に、子供の晝寢所ともなります、此小舍を造る材木は重に古材木を用ゐるから[illegible]出來るさうです

京城本町 千代田號印鋪 電話八九七番 振口八九七番

日報柳壇

劍花坊選

◎大佛

大佛の耳掃除する竹帚 ニコ坊
プロペラの音を大佛近く聽き 同
すまらいもの奈良朝の形見也 白峰
賽錢をさすがに大佛見上げられ 香海生
大佛を潰した金を各請る 多美郎
大佛の椅子にも見ゆる三笠山 若仙
見た人の話頭は雲の中 富三
大佛の足を拜んで皆歸り 同
大佛が出來て道幅ち生ゝ 劍花坊
恩津と奈良に大きな忘れ物 同

◇次の題(川柳)

◎紐(ひも)
(例)時計には非ず天保錢に紐(劍花坊)
(同)緋縮緬松井須磨子の死ぬる紐(同)
◎笑はれる
(例)株屋・裝束過ぎて笑はれる(古川柳)
(同)十三日までは大石笑はれる(劍花坊)
◎退治る 化物、猛獸、盜賊
(例)退治してから足輕の連れがふれ(古川柳)
(同)清正は退治た皮へ大あぐら(劍花坊)

新刊紹介

▲東洋皮革新誌(百七十三號)定價十五錢發行所大阪市東區内淡路町二の七七非社
▲大聖(四月號)奉天新市街浪速通二〇大聖發行本部
▲戰友(四月號)定價七錢發行所東京市麹町區飯田町二の五二帝國在鄉軍人會本部
▲勞働文學(四月號)定價十五錢發行所東京中野町一〇三〇東半球社

▲國柱新聞(二四一)日蓮主義の活氣ある雜誌にして國體運動の別題講演(田中智學)デモクラシーの基礎と日本主義(志村智鑑)思潮新鑑、[illegible]眼に映ずる對明運動(山川智應)櫻の時季の講演會(關鑿士)外交の活發化(三生坊逸人)其他活氣ある記事に富む(一部[illegible]十錢、東京下谷櫻木町獅子王文庫)

▲帝國飛行(四月號)列國の空中行政と我國の現狀に就て(宮益町人)海軍飛行論(ウッドハウス)來朝米國四勇飛行家評(青鳥)或る飛行家の夢(尾崎行輝)等の外讀むべき記事多し發行所東京神田淡路町帝國飛行發行所一部送料共貳拾五錢(第二四九拾錢)

お總菜

◇竹の子と高野豆腐 竹の子を皮のまゝ二つに割り鍋に入れて軟かくゆでゝ皮を剥いてよく洗つて適宜に切ります、高野豆腐は[illegible]長さに切り皮のついた儘湯にてざつとゆでゝゆだつたら水に取り手で皮をむき一寸程の長さに切ります。次に鍋にだしと砂糖[illegible]竹の子[illegible]上りかけた[illegible]高野豆腐を入れ[illegible]少し加へてざつと煮上げますこれに[illegible]ると立派な甘煮が出來ます

讀者の領分

[illegible]郵便[illegible]收入印紙[illegible]定價[illegible]るものは開館に處せらるべく若し之に違反した[illegible]るゝことは府令の許す所なるに何卒[illegible]官廳[illegible]人中[illegible]の無い[illegible]張は今宵[illegible]犯罪をなすものゝあるは[illegible]監督[illegible]行跡と狡猾なる此等官[illegible]者の中には立派な紳士[illegible]何にも上流人士にして其犯罪[illegible]求して[illegible]に介せざるのみならず[illegible]如斯不當利得を以て[illegible]

[illegible]輩人さならざらんこと[illegible]せられ又官吏者[illegible]るなり予は[illegible]監督者が今一層[illegible]ちざるい[illegible]價做道人)▲此の[illegible]併[illegible]は何う[illegible]んだらう少しも見ないが讀者文[illegible]らませんれ歌壇は今誰か撰してるのだらうこれもあまり振はん古い歌人は[illegible]先きでうかれてゐるんかしらんか少し[illegible]は[illegible]に[illegible]へ[illegible]よい(文學博士)▲之等[illegible]知りませんが[illegible]か出してなく[illegible]も僅か一二臺より出してないので何時も[illegible]置く所ありません又二三の如きは一臺もありませんので我々自轉車乘りの者は困惑致します どうか自轉車置き用意され番人の一人も置かれて呉れても渡して責任を以て預り下さるやうには出來んものでしようか(自轉車・クリ)▲小生は三日以前より偶然[illegible]突發今尚は[illegible]も[illegible]効を奏せず[illegible]に堪へず何か素人的確なる療法なきもの[illegible]敢て汎く[illegible]へて御教示を乞ふ(京城一五六六番生)▲我が[illegible]早稻田大學出身にして本年二十六歲容貌端麗にして[illegible]に八字鬚を有し身體は健身の丈五尺三寸六分學藝多才目下京[illegible]會社主任として月俸百五十圓を給せられ外に臨時收入數十圓ある前途有望にして[illegible]紳士なり悲しい哉獨身生活に苦しむ願くば我[illegible]と將來苦樂を共にする年齡十八九歲位高等女學校出身の美人と結婚を求む(懇願生)

登錄商標

たんをきりせきをしづめ ぜんそくに特效あり

たんせき
ぜんそく

苦しい時の龍角散だのみ!

ごんな難澁なたんせき・ぜんそくでも直ぐ切れます

今の時候に風邪に罹つたら皆惡性と見て差支へありません。それがたんとなりせきとなりぜんそくとなると決して油斷はなりません。一體ごんな病でも油斷は禁物ですが

たんせきは殊に油斷大敵です、すてゝおくと遂には肺炎・肋膜炎となり引ては肺結核の原因となり、幸ひ其時は治つたやうに思へても、どこかに病根を殘し必ず他日災を致します。されば たんせき・ぜんそくは必ず龍角散を服用して根治なさいませ。

龍角散の特長

龍角散は香味爽やかにて服みよければ如何なる藥嫌ひの人、子供にも適し、服む度びに精神ハツキリと蘇生せしめ、咽喉の苦しみを除き、數年頑固のたんせき、ぜんそくも薄皮を剥ぐやうに自然と快癒せしむ

かゝる人は必ず試みよ

◎たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
◎ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
◎せき頻に出で夜中眠り兼る人
◎流行感冒より起るたんせきの人
◎肺病にて常に力なきせき出る人
◎たん臭氣を帶び時々血の交る人
◎音聲のかれ又咽喉のいたむ人
◎百日せき又はしかせき總て呼吸器疾患のたんせきはいかなる惡性も凡そ一二週分續いて服用ば其效力速かに顯はれます

價定			
一三日分 二十錢	一週分 四十錢	二週分 六十五錢 一ヶ月分 一圓廿錢	送費無料

本舖 東京市神田區豐島町 藥劑師 藤井得三郎 電話神田二〇七八 振替東京九一番

取次 全國各藥店にあり本舖へ御注文は振替又は爲替及切手代用に願上候

早くお使ひ遊ばせ

一度召上つたら忘れられぬ美味しいお料理がスグ出來る

文明的調味料 味の素

味の素は小麥の蛋白質を原料として精製せる純白無臭の粉末で容易く湯や水に溶けるを以て頗る重寶の調味料です。其美味と滋養の點は一度お試しの方は御存じになります是非お使ひ下さい

國手之れを善用して患者初めて生く

帝國醫科大學病院其他各病院御採用

呼吸器 結核症 特效藥

フチゾール

フチゾールはグワヤコールの效果とカルチウム療法とを兼備せる理想的製品にして而も純內國產なれば價格低廉なり(粉末錠劑、注射液、含利別)

發賣元 大阪市東區平野町二 岸田市兵衛 電話長本局二四番 振替大阪三〇九番

特約店 大阪市東區道修町三 田邊五兵衛 東京日本橋區本町四 田邊元三郎

各地藥店に販賣す

ちゞれ毛

ドンナ頑強な毛でもタシカに直り皆さんが喜んでお金迄添へて涙の出る様なお禮状を下さるチヂレ毛直しを發見しましたから人助けの爲に一般に知らせます ハガキ下さいタレでも無代進呈致します 東京淺草山の宿町三十一 丁巳堂

特選 本セル ハカマ

壹着に付金拾圓市內御報次第持參地方送料十二錢(京城太平通(電話長六千九番))

京城日報社代理部 振替京城二百番

今日、此頃は花盛り 花に浮れる半面には

カトウ 百毒下し を服用して體內の病毒驅除を忘れ給ふな

伊勢四日市市赤堀 本舖 加藤翠松堂 振替 東京三〇四五 大阪一七九五